京城日報　十九日夕刊

定價 本紙一部金三錢 一ヶ月金五十五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

◎米國軍事公債案可決

十八日發電〔紐育〕上院は七十億弗の軍事公債案を滿場一致にて可決せり（紐育電報）

◎獨艇米海岸封鎖計畫

獨逸は潜航艇にて米國海岸の封鎖を計畫せるが如く紐育に近き海上に於て獨艇は米國驅逐艇に發砲せり（紐育電報）

▲獨逸の一潜航艇は紐育より南方百浬を隔つる海上に於て米國驅逐艦を砲撃したり右は獨逸潜航艇の米國海岸封鎖開始と解す可し（紐育電報）

◎佛軍敵の逆襲を破る

佛軍はソアツソン、ランス間に於て獲得したる陣地を支持し獨逸は強力なる部隊を出して逆襲し來りしも佛軍は之を破りて多大の損害を蒙らしめたり（倫敦電報）

◎獨逸大軍を集中す

獨軍はソアツソン、ランス間に二十個師團を集中せり（倫敦電報）

▲巴里來電に曰く半官報に依る獨逸軍はソアツソン、ランス間に於て少くとも二十箇師團及び利用し得る一切の砲兵を集中せり我前衛の進出は所に依りては三、四基米突に達せり聯合軍は過る八日以來に獨逸軍の戰鬪力を亡ばしむる事十萬に及べり（倫敦電報）

◎獨逸の講和提議説

獨逸政府は近く中立國に講和條件を提示し斡旋の勞を求むべしとの說あり（路透電報）

◎墺國民の平和祈禱

墺匈國に於ける講和熱頗る熾んにして一般國民は速かに平和克復せんことを祈禱しつゝあり（路透電報）

◎支那參戰問題奈何

支那の參戰問題は今や中央地方共に贊否の議論盛んにして益々進展せるも未だ確定するに至らず（北京電報）

◎黎總統參戰に躊躇

駐米公使顧維鈞氏より米國は支那側と同一態度に出づべきを希望し支那の協商加入には反對なりとの意味を電報し來れり黎總統は之に動かされ居る模樣なり（北京特電）

◎禁商公布近し

十八日樞密院會議に於て可決せる對敵通商禁止勅令案は二十三日を以て公布せらるべし（東京電報）

◎憲政當選豫想

憲政會の豫想に依れば當選確實百七名當選不確實四十二名なりと（東京電報）

◎岡野博士歸東

朝鮮王公族制度調査の重大使命を帶び朝鮮に出張し居たる岡野行政裁判所長官は十八日午後八時三十分歸京したり博士は李王家に於て誠に厚き思召を以て一行を優遇せられたる事を光榮とし衷心感謝し居れり尚總督府に於ても自分等の仕事の爲め多大の便宜を與へられたる事も只管感謝に堪へざる次第なりと語り居れり（東京特電）

◎政府側の觀測

政府側の觀測する所に依れば憲政會の當選は極めて有利に見積り反對黨百八十六名政府黨百九十五名なる可し（東京電報）

◎王交通次長渡鮮

支那交通次長王麟煒氏一行は十九日午後三時宮島著同七時發二十日下關に著し同夜八時四十分釜山著の豫定なり（大阪特電）

◎長崎縣下形勢

長崎縣下の選擧戰は大勢既に定まり形勢は政友會候補牧山耕藏氏に有利なり（長崎電報）

◎福原少將檢閲

獨立守備隊司令官福原少將は十九日朝五時新義州着安東守備隊の檢閲を行ひ午後五時半より官民有志を招待し午後八時十分發北行せり（安東縣特電）

◎總督春川視察

長谷川總督

□誠意ある歡迎　春川巡視はいよ〳〵十七八日の兩日と確定しこの通報に接した春川官民は一齊に歡喜し直ちに歡迎の準備に取懸り道廳は十六日其筋へ周到なる次第書を配付したりかくて愈々當日となるや午前十一時春川郡の警察署及び木町交番所前の峠を以て總督一行が通過を報じ春川の入口

▲送迎橋より　銀行前に到る沿道には次第書の規定に基き（守備隊、小學校、農業學校、普通學校、耶蘇教學校、病院外國宣教師、官吏、女學校、楊梁傳習所、在郷軍人、赤十字社員、愛國婦人會員、道廳及び慈惠醫院、警務部憲兵隊本部、憲兵分隊、郡廳警察署、江原支部、郡廳及面吏員、郵便局、監獄分監、學校組合、農銀支店、金融組合、衛生組合、消防組、一般歡迎者）の順序に整列し其他威風赫々たる總督の英姿を見むとして集まるもの

▲無慮一萬に　達し市中頗る雜沓せり尚ほ新延江渡舟場には警戒連絡の爲め特設電話を架設し道長官警務部長は同渡舟場まで出迎をなし附近は憲兵及び警官をして警戒せしめたるが總督新延江到着の報と同時に歡迎者一同列を正し待つこと約二十分にして總督搭乘、長官警務部長警備同乘の第一自動車送迎橋附近に差蒐るや守備隊吹奏の

▲喇叭朗かに　總督は一々擧手の答禮を行ひつゝ堵列の前を過ぎ本町交番所前より右に折れて道長官々舍に入れりこの日天氣くまで晴れ春風柔かに軒頭の旭旗を弄り春川の一角に聳ゆる鳳儀山は一入鮮かに欣然として宛然一行を迎ふるものゝ如し

□各公衙の巡視　十七日午前十一時四十分春川到著の長谷川總督は道長官々舍に於て晝食を喫し午後一時自動車を驅つて道廳に到り廳員の出迎へを受けつゝ會議室に入り別項記載の官民接見者に對し接見したる後江原道廳、慈惠醫院、守備隊、商品陳列場の順序にて巡視を行ひたるが其の概況を記せば先づ

▲江原道廳　にては長官室に於て須藤第一部長の報告による道勢一斑の概要を聽取し終つて道長官の案內にて各事務室の巡視に移り勸業係に於ては津村技師及び杉本道事務官より詳細なる道勸業狀態の報告を受けそれより學務、地方、土木、財務の二部會計、稅務、理財に至る各主任書記及び技手の說明を一々熱心に聽取し時々懇切なる質問を試むる等約二時間に亘り頗る綿密なる巡視を遂げたり

▲慈惠醫院　にては奈良院長以下醫官書記等の出迎を受け院長室に於て院長の報告により醫院の沿革及び現狀を詳細に聽取し後醫院長案內にて事務室並に病室を巡り最後に施療患者治療室に到り室外に溢れたる鮮人施療患者を一瞥して『あゝこれが施療室か澤山來るの―』と院長を顧みたるより院長は『昨日は十五名參りました』と答へたるに滿足の模樣なりき

▲守備隊　にては末松大隊長以下將校准士官は衛兵に面し出迎へをなし總督は大隊本部に到り紀律、敎育の狀況に關する大隊長の說明を聽取したる後下士上等兵二年兵に對し學科の試問を行ひたるが何れも活潑明瞭なる答へを得頗る滿足の面持なりき

▲商品陳列場　は道の經營なるを以て道長官以下各部長事務官技手等其れ〳〵陳列品の說明をなし總督は一々熱心に之を聽取したるが殊に本道產出の繭の標本及び生糸其綿等に對しては數々質問を發し微細の點に迄注意を拂ひ巡視の上午後四時三十分商品陳列場前より再び自動車を驅り道長官々舍に入り總督並に大島副官神田秘書官は其儀長官々舍に一泊し其他は春川旅館と秋野旅館に分宿したるが吉山道書記旅館係主任として諸般の斡旋をなしたり（春川）

▲春川總督接見人名　▲江原道長官李圭完▲同參與官李範益▲春川慈惠醫院長奈良直三郎▲江原道警務部長藤吉▲春川步兵大隊長末松四郎▲江原道事務官須藤素▲春川憲兵分隊長池田留吉▲同道技師津村哲四郎▲同道事務官杉本良三▲春川郡守▲春川公立普通學校長▲春川郵便局長▲春川學校組合管理者▲在鄉軍人春川分會長

十八日夜歸京せり

□御眞影奉戴

憲兵隊司令部にては十九日朝大槻副官龍山第十九師團に赴き立花師團長奉戴歸任せる憲兵隊司令部に御下賜に成りたる皇后陛下の御眞影を奉戴同十時半歸隊せり

◎政務總監饗宴

山縣政務總監は高等土地調查委員長として既記の如く十九日午後六時三十分より高等土地調查委員並に幹事等二十七名を朝鮮ホテルに招待饗宴を開けり

◎臨時研修會

總督府にては二十日午後四時より第二會議室に於て臨時研修會を開く[illegible]課長の歐米視察談ある筈なり

◎辭令

十七日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府判事　叙高等官八等　崔昌朝
任朝鮮總督府判事　叙高等官八等　補平壤地方法院鎭南浦支廳判事　十二級俸下賜　務川忠治
任朝鮮總督府道慈惠醫院醫官　叙高等官七等　平安南道在勤を命ず　七級俸下賜　日下部富藏
任釜山中學校敎諭　叙高等官七等　八級俸下賜　永谷隆志
依願免本官

◎立花中將歸任

全國師團長會議のため上京中なりし立花第十九師團長は今回御下賜されたる御眞影を捧持し山崎參謀と共に

◎鹽澤大佐入京

黃海道警務部長より全羅南道警務部長に轉任したる憲兵大佐鹽澤義夫氏は十八日午後六時三十分南大門著列車にて入京し山本旅館に投宿せり

◎小崎技師視察

臺灣總督府技師小崎嘉夫氏は十八日入京巴城館に投宿せるが滯在約一箇月間の豫定にて朝鮮に於ける山林行政の視察をなす由

◎木曜會

毎月開會の木曜會は十九日午後六時より京城ホテルに於て開催最近歸朝せし入見農務課長の歐米視察談ありと

◎商議役員會

京城商業會議所にては十九日午後二時より同所樓上に於て役員會を開き大正六年度豫算修正其他に關する件を附議せり

◎鈴木撰鑛場著手

豫て計畫中なりし鈴木商店の撰鑛場は既に鷺梁津側の山地に一萬坪の敷地を買收し器具機械類の到著を見たれば此所一週間を出でずして其の事業に著手すべく先づ第一回試驗的に成功せば漸次進んで工場を增設し精煉場をも計畫する豫定なり該工場は約二十萬圓を投じて建設され總坪數五百坪內外百三十馬力の電動力と約百人の從業員を有し鑛石の種類は鉛亞鉛、黑鉛、銅其他にて之等を擣碎して一定大の粉末に製し水の比重に由りて撰鑛するものとす工場設置の場所たる鷺梁津は水陸交通の便多く漢江の舟運を利用すれば忠北、江原地方よりの買鑛に便あり鐵路に由れば京釜、京元、京義の各沿線に運搬の利あり運搬買鑛共に天與の地形を占むと云ふべく毎月の買鑛約二千噸を算すべしと云ふ

圃員より

奉天にて　弓場生

[illegible]

奉天より　朴宇鉉

[illegible]

奉天有感　素石　韓致愈

當年三士血空流。水煒山頻久不休。無陵荒殿今如許。堪向泉靈謝舊愁。（四月十七日）

其　二

年々甚惜渡遼洲。志士何曾暫忘羞。天道不言還有□。○逢今海國勇凶州。

其　三

萬事輪回有必新。國峯關嶺飛鮮人。幸賴賢侯循撫德。共逃鄉浪得平津。

開城有感　玉汀　申錫雨

松嶽蒼々是古居。憶昔繁華有盛餘。故國興亡長似夢。一春無事過遊廬。

【平壤】

▲地主會　平安南道にては四月二十四日同郡廳に於て地主會を開催すべく道廳より三宅技師若くは篠田一部長出席すべしと▲煙草耕作組合　平安南道成川郡は煙草耕作に適し目下耕作者二千四百餘名に達せり總督府に於ても年々之等耕作者中優良なるものを選任して指導獎勵に從事せしめ來りたるが本年度の模範耕作人は十七名にして四月二十一日之等耕作者に對し褒賞授與式を擧行する由なり當日は度支部中田技手及び平南宮永二部長菱木技手平田書記等出張臨席すべしと▲支那語講習會　平壤府衙廳里六一番地辯護士洪在祺外數十名の朝鮮人有志は支那語講習會を組織するの計畫なり而して敎師に平壤府將別里居住醫生支那山東省登州府海陽縣の人陳鴻秀を囑託する由なるが四月十七日講習會設立認可申請書を平南道長官に提出したり▲敎員試驗　平安南道廳に於ては來る五月二十八日及び二十九日三十日の三日間私立學校敎員試驗を執行する由なるが受驗志願者は五月二十日迄に志願書を提出すべしと

【大田】

▲囚徒護送變更　公州地方法院大田支廳に於て判決を與へたる既決囚徒は是迄日鮮人共全部京城監獄へ護送しつゝありしも四月一日より日本人囚徒は永登浦監獄へ鮮人囚徒は公州監獄に護送する事と更せり▲將校婦人會發會式　大田步兵第七十九聯隊に於て十八日午前十一時軍旗祭終了後將校婦人會發會式を擧行し紀念の撮影あり引續き地方有志婦人數名を招待して茶話會を開きたり▲太神宮例祭　大田太神宮にては春季例祭を十九、二十日の兩日擧行の筈なるが十九日は午後七時より二十日は正午より祭式ある筈▲種苗組合の登山會　大田種苗組合員二十餘名は來る二十二日家族同伴にて憲兵隊後方の斥山に登山會を催し親睦の宴を張る由

【木浦】

▲女學校認可　豫て出願中なりし木浦實科高等女學校は十三日附を以つて認可に接せしを以つて茲數日中に職員の任命を見開校すべしと▲水產會社總會　當地水產株式會社は十五日公會堂に於いて株主總會を開き決算報告利益金の配當案を決議したり本年は成績良好にして年一割の配當を爲すべしと因みに取締役一名監查役二名改選の結果取締役に高根信禮監查役に藤森利兵衞、松井邑次郎の三氏再選す

人事消息

▲阪田鳴雨氏（總督府技師）理化學事業觀察の爲め全北管內に出張中の處此の程歸任
▲吉木彌三氏（中央試驗所技師）十七日附東京大阪へ出張を命ぜらる
▲西條美氏（總督府囑託）公用にて昨日午後七時五十分南大門驛發東上二ヶ月間滯京

逐鹿夜話

▲金澤の中橋永井戰は既に白熱點に達して中橋派が東京から一騎の壯士を呼び寄せると永井派に早速早稻田の柔道部から腕の者を呼び寄せた相だイヤ物騷々々▲物騷と云へば久留米の淺野醫吉君と大藪房次郎君の決戰は非常なもので殆ど腕力沙汰となつて兩派の運動員が毎日のやうに取ツ組合をやると云ふ騷ぎで油が乘り過て居るらしい▲山陰地方では選擧取締の峻烈の爲め各候補者は何れも運動員に非常な手不足を感じて雲南三郡及び能義八束方面では一人の運動員が敵味方双方の推薦狀やら名刺やらを同時に有つ者につきつけて『お氣に召した方に御投票下さい』と丸で商品扱にして居るさうだ▲貧乏を看板の東京の某候補者戸別訪問で或有權者の家へ行くと主人不在とあつたので子供に『私は東京中で一番貧乏な候補者だからお父さんがお歸りになつたら是非私に投票するやうに坊ちやんからお願申して下さい』と言つて歸つた其晩主人が歸宅すると息子が『お父さん代議士がお金を貰ひに來たよ』は好かつた▲香兵衞の杉山四五郎君と共に政友會の選擧事務を手傳つて居る應井準之助君『若し吾黨が百四十名になれば祝杯一ト樽寄附するよ』と云ふ百四十名より見込がないのかと聞けば『イヤ待て呉れたまへ百四十名より四十名までは二名を增す毎に一樽百五十名以上は一名を增す毎に一樽これならよいだらう』は大笑ひ▲國技館の大相撲よりも人氣を湧かして居る總選擧戰も何と云つても世間は限り乘るか反るかの二た道此二日間は內地各所は引つくり返る樣な大騷ぎをやつて居るのだらう高見の見物とは云ふものゝ早く開票の結果が見たいものだ

滿洲見聞錄（二）

奉天の日支人街　奉天にて　西海生

▲一望際涯なく打續く奉天平野の曠野に驚ろきつゝ列車を驛頭で降りると、宏壯盛觀を極むる奉天停車場が滿洲初見參の吾々の瞳を奪ふ。解放された驛舍の横を通つて廣場に出れば直ぐ眼の前に屏風の如く立ち廻つた大建築がある、何會社の建築かと吃驚しながら仰視すると、コハ卅萬圓を投じ滿鐵で建築した貸事務所……、其の三層の內部を數十に區劃し、商店や旅館や個人の住宅に貸してゐる之れに隣接して旅館、俱樂部などゝ云ふ支那の美術的な建物があり、滿鐵の事務所があり、そこらの外觀は實に堂々として、流石は奉天だと感嘆の聲を發さずに居られない

▲然し驛から踏み出して奉天省城に至る約二方里の長きに亙る日本人街を見ると、最初の大玄關に驚いた感じは、いつとなく消ゑて更に未成品の奉天だなと云ひたくなる、何しろ八千の日本人が……若干の支那人と共に……此の二方里の間に散在して居るのだから、滿鐵の委任行政の下にある附屬地の新市街と西塔並に總領事館の管內たる十間房、城內雜居等の各市街は相對峙して其の間の接續は全くとれてゐない、殊に正金、鮮銀、正隆等の各銀行及個人の有力な商人の大部分は城內に雜居して居るため、日本人街の振はざる事は甚しい、相當の建築で又立派に軒を並べてゐるのは滿鐵の社宅であるが、而して附屬地では滿鐵の醫學堂や病院や小學校、十間房では總領事館、英米煙草の工場が乘思を壓する巨人のやうに所々に雄視してゐる

▲此の現狀は奉天に於ける邦人發展の餘裕綽々たるを示し、其の將來の規模の端睨すべからざるを語つてゐるとも見得べしだが、偖て奉天の邦人街が玄關に相應しい程の堂々を示すのは果して幾年後であらう乎、恐らく其の前途はまだ〳〵遼遠、少なくも一世紀先きじやと云つても多くの苦情は出でまい

▲日本人街を通つて支那町たる奉天省城內に入ると、其の活躍の狀態は眞に目覺ましいものがある、流石は滿洲第一の大都で、今を距る約三百年前、清朝の鼎を一時茲に定めて居た所だけ、規模雄大、現今頹廢に近づいてはゐるが二重の各城門の鐘樓、城壁、宮殿等が其の古への盛京時代を語つてゐる、人口三十餘萬と稱せられ、朝鮮程の面積を有する奉天省の省政は全部源を茲に發するのだから、督軍公署を初め支那側の官署衙門の數は大したものだ

▲京城の睡眠せる鮮人市街を見つけた予等の目に映る奉天の殷賑は靜的の都會と動的の都會と形容して比較したい程だ、念入りに意匠を凝らした軒高の商家は櫛比し、奇拔な看板や店頭裝飾や商品の陳列は各種の色彩によつて甚しく綺羅びやかだ、長い幾本の轍然たる旗や、幟などのつるされた店もある、其の店內には黑衣辮髮の支那人が忙しさうに何かしてゐる、總じて街に油がのつてゐる、直覺的に見ても如何にも商況が活潑であるらしく思へる、奉天は商品の大消費地たると共に奧地に諸雜貨の供給をやり、特產物の買入れ發送も仲々盛んなのである

▲街上の行人が夥しい數だ、何れも濛々たる砂煙りを衝いて、如何にも用ありげに急いでゐる、斯うも人が多いかと思はれる程往來は繁い其の間に一頭立て二三四五頭立ての馬車が商品を滿載して通つてゐる、其の間に人力車が走る、擔ぎ荷の男が過ぎる自轉車が續く、肩摩轂擊と云ふ文字は此の盛況を形容した適當の辭句である哩と思ふ

▲一體支那人は國家的集合的に見れば缺點も多いが、商人としては仲々手腕は鮮やかだ、或る邦人實業家は『鮮人は百圓の金で十圓の商賣より爲し得ぬやうだが、支那人は十圓の資金で百圓の商賣をする』と云つたこれ支那商人が區々に分類すれば必ずしも資產家多しと云ひ得ざるに拘はらず、市況に活動の氣を漲らせてゐる所以であらう乎

◇列車中の現地講話

視察團一行の列車が奉天驛を出發してから歸路の左右は日露戰役中の戰跡ばかり一木一草と雖も當年の戰跡を物語らざるはない、現地講話の將校は遼陽守備の歩兵第五十四聯隊附歩兵大尉中原八郎氏と同歩兵中尉吉田定男の兩氏、汽車が渾河、沙河、遼陽と海の如き平野を過ぐるに從ひ當年の戰跡は窓外に手を指すが如く現れ且つ去る。我に三十八年三月十日の奉天大會戰にわが軍が渡渉せし渾河の流れ、クロパトキン將軍が攻勢に轉じて却つてわが軍の爲めに擊破せられし沙河の會戰地、さては遼陽附近遼陽城の追擊にうつりし所など眼前に見て感慨無限なり、殊に中原大尉は鐵道線路に沿ひて奉天會戰に參加せる當年の勇士、沙河陣の思ひ出などは殊の外一行の興味を深くした、列車は十七日午後四時廿四分列車の沙河附近を過ぐるところ說明者は吉田中尉である（南行列車中にて金谷生）

●熱狂的の信徒の喜び
句佛上人を迎へるに忙しい本願寺

御門跡を迎へるに最早一週間の時日も無い此頃、南山の本願寺では種々の準備に忙殺されてゐる、御成町の茂呂といふ信徒の人の寄附にかゝる本堂前の石造りの

◇大燈籠も 出來上つた、淨水池も出來た、境內の掃除も隈なく行き屆いた、森勝次氏が寄進した宗祖上人本尊安置の宮殿も著いた、そしてすべての設備、歡迎の用意などは大幸輪番以下別院の人たち、信徒重だつた人から設けられた

◇各委員の 人々によつて滯りなく出來た、在京の一般信徒一千名には御門跡來京の通知狀が發せられ地方各所の別院布敎所『出張所』等に對しても宗祖大師遠忌法要に參詣あるやうにといふ通知が發せられた、二十四日朝釜山

◇上陸の際 には信徒一同を代表して京城から森勝次、和田常市、山口太兵衞の諸氏並びに大幸輪番が前夜京城を發して釜山に出迎へる、二十五日午前八時五十分南大門驛著入京、二十八日午後二時四十分同驛出發仁川に向けて

◇退京の際 は漢陽公園に於いて煙花三發を打揚げる、何を言ふにも句佛上人の朝鮮巡錫は初めての事とて信徒の喜びは非常なもので殆んど熱狂的であると言てもいゝ

●雹が降る

京城地方は十七日午前四時十五分より降雨あり四時三十分より初雷鳴、五時五十五分より降雹あり大きな豆位のもの雨と混じ一時間四十分降續き七時三十七分全く止み其の降量合計七ミリメートルに及びたり京城雷鳴は最初西北西にて鳴り午後六時頃南東方面に去れり

●お札博士 京城に來らん

お札博士として知られしスタール博士は通譯前橋半兵衞氏を伴ひ十九日朝さくら丸にて著釜南濱町小林正三郎氏方に赴き原始時代の遺物土器等を見同十時半發列車にて京城に向ふ氏は京城を根據地として約三箇月間滯在全鮮の風俗習慣人類學上の調査を爲す筈（釜山特電）

●小學敎師へ遺書
投身か、惡戲か、眞相未だ判明せず・
差出人は卒業者か、漢江上流より

十九日午前十時頃京城西大門通常高等小學校花田敎師宛に鉛筆の走り書きにて自殺する旨を認めた

◇一葉の端書が 舞込むだ、宛名は『京城 西大門通 西大門學校內花田先生樣』とあり下方には『十七日午後十二時半漢江上流にて』とあり裏には

拜啓小生在學當時は色々御親切に御敎下され有難御禮申上候私は昨日より此の世の人でない目的無き旅を致しましたが地下に御をる外より通がなく心を定めて死する事に致しました先生御身大切に遊學し成功成され度願上ます死ぬ場合から（原文の儘）

とあり是に就き花田氏は

◇筆蹟を手掛り に極力手紙の差出人を探査して見たが一向に判明せぬ爲め手紙は本町警察署に其旨屆け出でた右に就いて花田訓導を同校に訪うと曰く『彼の手紙の主に就ては私も學籍簿や卒業生名簿を引張り出して極力取調べました偶文字の手蹟が酷似してゐる生徒があるので是も取調べた所本人は只今在宅中であることが分り一方

◇目下通學中の 生徒には家出したものや又平素家出するやうな家庭の生徒も無いやうです今の所一寸見當が附き兼ねますが多分今春か昨年あたりの卒業生のやうに思はれます私は高等科ばかり受持つてゐますから卒業生であつたら高等科の卒業生であらうが卒業生の消息は

◇大抵判明して ゐる、年齡から見れば十五六歲の少年である筈だが其れにしては文字が甚だ下手いやうです』尙本町警察署にては龍山京城の兩分隊に手配して目下漢江沿岸一帶に就いて警戒中

本社主催 南北滿洲視察團

◆楊柳煙る南滿の春光
大連驛頭の盛んなる歡迎

十八日午後十二時十五分大石橋を出發したる一行は沿線楊柳の煙れる滿洲の春光を賞しつゝ蓋平得利寺等の戰跡を經て營口金州

◘南山の麓 を過ぐ斯くて定刻午後七時十分大連驛に安著すれば步廊には滿鐵理事改野耕山兩氏を始め大田鮮銀理事橋本同大連支店長久保田滿鐵庶務課長相生商業會議所會頭商議大連市助役村田滿洲日々社長吉倉遼東新報主筆金子泰東日報社長田中警視加藤

◘通信管理 局長其他日支官民數十名の盛なる出迎を受けつゝ一行は新聞寫眞班のマグネシヤの閃光を浴びて各自馬車自動車を驅りて遼東ホテル花屋磐城各旅館に入れり（大連にて幹部員發電）

●妓生置屋に潜

[illegible]鮮（三）等は共謀し二月十九日鳳山郡沙院面沙原里の資產家尹某の三男尹[illegible]、何れも逃走したるが內四名は[illegible]京城貴金町茶屋町等の妓生置屋に潜[illegible]執の間なるが四月五日同族一門の先[illegible]龍を捕へて三名にて戰る換ろの暴行[illegible]

●五月人形
今年は何處でも賣行きが好い

若葉がくれに鯉幟の吹流しがチラチラと翻へつて端午の節句は目の前に迫まつて來た、武張つた事の悅ばれる日本人の家庭に取つては此の節句は重なる

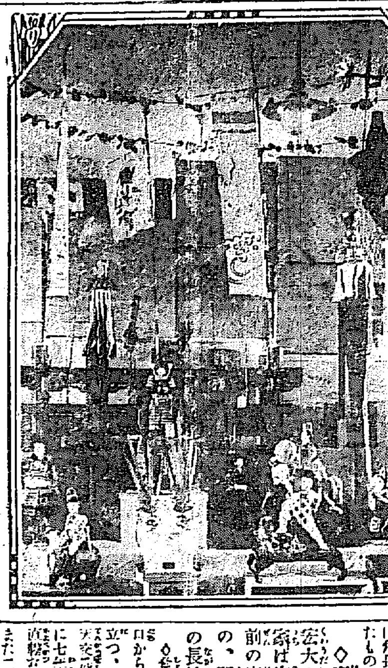
◘年中行事中 の一つに數へられて居る、京城の內地人も尻が据つて來るに連れて床しい古例が年一年に其の生活を色著けて來るそれかあらぬか今年の五月人形の賣れ行きは京城では何處の店でも未だ曾て見た事のない位の

◘盛況を極め 四月上旬頃から引切なしに賣れて中には最早賣切つて終つた店さへ有る位である例へば三越の京城出張所でも過日から五月人形の陳列會を開いて居るが之れも亦賣れ行きが盛んであると云ふ事だ、今三越で陳列した五月人形の品を標準として今年の五月人形の

◘相場を調べ て見ると幟旗、馬簾、薙刀等の『五月飾』一揃二三圓から十四五圓迄內地では大幟を樹てゝ昨今移つて步かなければならぬ人の多い朝鮮では座敷幟の方が最もよく賣行きがよい人形では八幡太郞義家公、鍾馗、金太郞、桃太郞、立武者、鍾馗等樣々ありて價は一圓位から十五六圓迄

◘奉書飾馬は 一圓十錢位から三圓五十錢位まで陣道具は二圓位から始まる角髷出生大刀一圓から三圓、都七八圓甲冑具足櫃二三圓より十二三圓迄蒔繪鞘卷陣太刀二圓位から四五圓迄まだ此の外いろ〳〵の飾物がある朝鮮ではまだ何んと云つても間に合せ物の方がよく賣れて二百圓三百圓といふやうな甲冑

◘百圓內外の 座敷幟などは賣れぬ其の代り二三圓から五六圓位のものは內地の何處の市街よりも割合に賣れ行きが盛んであるとの事だ



五月人形の陳列（十九日本町にて）

●鶯一羽十圓

平安南道大同郡大同江面寺洞木岡金（三七）は去る十五日同郡龍淵面畑中に於て無免許にて十二番口徑銃を發射し鶯一羽を射落したる現場を平壤署の巡査に認められ取調べの上四月十六日罰金十圓の即決處分に附せらる

●醫專の運動會

京城醫學專門學校にては同校創立記念日なる二十日を期し獎忠壇に於て大運動會を擧行する筈にて十六日附各方面に案內狀を發したり

○龍山高野教會 二十日より二十二日まで[illegible]一千〇六十九回の[illegible]二十一日は多數信徒より一般參詣者に[illegible]の供養をなし又二十二日は竹本[illegible]より素人[illegible]の催しありと

▷觀察團より◁

◘紅い毛の鎗
捧銃の兵士

（[illegible]）

◇觀察團一行は十六日午前十一時奉天城內の宮殿を見た、城內の最も繁華な通りから武功坊と記された門を入るとすぐ正門となる門には兵士が起つてゐる

◇宮殿には崇政殿といふのがあつて其の中の玉座の上に太宗、世祖、康熙帝などの旋額が懸つてゐるが、京城の仁政殿と同樣の式で規模はこちらの方が小さい、しかし後ろの鳳凰樓といふ三層樓に登つて見ると手近い所では周圍一里半の市街城壁が高さ三丈の頭を屋根の上にずつとならべてゐる

◇また四方を展望すれば遙かに海のやうな中の北陵の松林から城の東西南北にある喇嘛塔まで見わたせる、喇嘛塔は大きな瓢簞をすゑた形態である、それからさきは遠く遙かな地平線のみさしづめ蒙古につゞく野原かなと一句なかるべからざるところ、屋根の瓦は黃色と靑色

◇元來奉天城は今から二百八十年前の建造で歷史はあまり古くない、造つた人は淸の太宗でそのお父さんの淸の太祖が萬曆四十八年（今より二百九十八年前）奉天を攻略した、其の後北京に移つたのは有名な順治帝である

◇滿洲といふ名は太祖の寧滿滿住から轉化したものださいふ、由來此の地は初期の滿洲移民たる挹婁・高句麗の時代から渤海、靺鞨の時代まで盛衰〳〵北方の强の爭奪したところ、既に有長白山の麓から起つた淸朝の帝業も倖かつたものである

◇奉天督軍張作霖閣下の午餐會は宏大な奉天行省公署內で催ふされた、筈は宮殿の東方將軍胡同にあつて以前の奉天將軍徐世昌氏の建造したもの、門には捧銃の兵士と紅い毛の房の長槍を持つた兵が六人居た

◇[illegible]といふのがまたなか〳〵廣く正面の入口から奧まで出口出口は銃劍の兵士が二人づゝ立つ、此の日南滿督軍は[illegible]外交部[illegible]天交涉署の馬廷亮氏が挨拶を述べた、氏は京城に七年も居た人、交涉署といふのは北京政府の直轄なれども實は公署の外交部である、それにまた二十七旅長（師團長）の孫氏から二十七師參謀長[illegible]氏なども勁強なビカ〳〵させてやつて來た、聞けば張督軍は此の宏大な邸內に在つて政務も行[illegible]政務を[illegible]するのであつた

◇日露戰役の戰死者を祀つた奉天の忠魂碑は新市街の東方にある、南滿洲に發展した內鮮人の今の地位もこの碑に眠れるわが數萬の忠魂のお蔭である、中には一々遺骨を拜まれるやうになつてゐて哈爾賓はじめ北滿洲各地から贈つた花環もあつた

◇南滿醫學堂は新市街にあつて設備完全、先年滿洲を震駭せしめた肺ペストの媒介者タルバガン獸の剝製も見てこれはペルモットですかとの奇問に一同大笑ひとなる——病室にはどこでもけの內地人が[illegible]してゐたこともも內地式[illegible]

◇[illegible]の長老岩田七十一翁は希望して一行の旗手となり笑つて曰く『とし甲斐に何も興の富士ならで高き齡は用の仕納め』また奉天城にて曰く『いかさまに淸の古都でも規模狹し貧しかくて今後の[illegible]まいと（奉天にて金谷生）

■課題の募集規定

■募集規程 ▲用紙は端書又は[illegible]

天気 晴れ

商況

東京債券現物特電

[illegible]

東京公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

十九日前場	寄付
四月限	九六、八〇
五月限	九二、九〇
六月限	八九、八〇
七月限	八八、七〇
八月限	八九、〇〇
九月限	八八、五〇

大阪期米特電

十九日前場	
當限寄付	一六、一〇
中限寄付	一六、四二〇
先限寄付	一六、九三

下關期米特電

[illegible]

雜報

●綿糸反撥す

[illegible]

●大上放 三百六十丁

[illegible]

●北海小豆續騰

[illegible]

●百斤七圓五十錢

[illegible]

●肥料需用鈍し
總體の消費額を減

[illegible]

●新潟早からむ

[illegible]

●現狀維持か或は一圓下

[illegible]

●左官材料騰貴

[illegible]

●東洋パナマ製造

[illegible]

●二割高

[illegible]

●速効肥料の減

[illegible]

●鴨江村の値上
又復た値上

[illegible]

●靜岡新茶大走り
合一割內外

[illegible]

●米國輸出好望
多少減收

[illegible]

●農具の賣れ行
農家所得の開墾用具の需用抄

[illegible]

一圓以上迄行

[illegible]

五錢四厘九十六錢の移

[illegible]

市場雜聞

▲薄商內保合

[illegible]

▲前場の手振

[illegible]

▲續いて閑散

[illegible]

▲展開未だし

[illegible]

▲變動期何時

[illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

更に一段の高値

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 (日) 仲買店 電話 二八三番

[illegible] 田中金[illegible] 電話 長 一五二八番

仁川期米

十九日前場 大阪前寄
十六圓九十二錢ミ 昨止より一錢安の入電

[illegible]

仁川米豆取引所 十九日の六月限

前場	
寄付	十三圓丁度
止め	十三圓〆三錢
高值	十三圓〆三錢
安值	十二圓九十九錢
出來高	四千九百石

平均値段	
一節	十三圓丁度
二節	十三圓〆三錢
三節	十三圓〆三錢
四節	十三圓〆二錢
五節	十三圓〆一錢

賣買取組高	
四月限	二千四百五十石
五月限	一萬四千五百五十石
六月限	一萬六千百石
十八日後場	一萬七千六百五十石

靑物だより

[illegible]

…れ此の間は今の五歳より……一同協議し同地賢者と……黃海道鳳山郡沙院面齊沙院里崔成璟（三）平壤黃金町崔昌鉉（三）水玉里李炳瓚（三）咸從里金明鎭（三）將別里李廷…一千二百圓借り出させ黃州、平壤新義州、安東縣等を連れ廻りて悉く浪費し金の無くなりたる頃合を棄てことより豫て同里の安承龍（）と確…

●親子袋叩き

平北博川郡北面社稷洞農安時俊（）は土地係爭の爲め時俊は長男安基喆（）三男…安時甲方にて雜談中を見聞し復讐を急報に接したる博川警察署にては各方に手配りの上山中其他に潜伏中の父子三名連れ出して打入り承…の父子全部を逮捕し目下嚴重取調中

明君道中記

第百二十席　田邊南龍口演

植木の娘おいねは夕べの夢が氣になると城内で人が殺されたとの噂、若しやと思ひますから忠兵衞に對ひ「然て何うい…譯で殺されましたか話して下さい」忠「さア何に此度將軍樣日光御社參に就て當御城内へお泊りになるので新御殿が出來まする、其の普請にして居ります大工の棟梁で宅兵衞といふ人が自分の弟子を始め其の職人總勢三千人も行つた始め大工の內儀さん達が死骸を引取りに參るといふので皆泣きながら御城内へ參りました、中にも與三郎といふ人の母親なぞは眼が見ゑないから手を引かれて泣いて居ました、是を今見て來たばかりでございます」とおいねは前にあつた前掛を摑んで「ヱーもう何うしたものか」と云ひ乍ら聞いておいねは前にあつた前掛を摑み忠兵衞に打付けて「そんな物は要りません」と云つて其儘奧へ行つてしまつた　忠「オヤ〳〵おいねは何うしたの…さい」後ほど御機嫌の直つた處で妾から宜しく申して納めて上げるから忠「もう是に懲りてベラ〳〵喋舌りません、お前さんにお禮として叙を一本上げますから何分にも頤ひます」しま「其麽物は要らないから早くお歸りなさい」小間物屋忠兵衞は道々の間で歸つてしまう、下女のおしまは其の前掛を片付けて勝手の方へ參りました、此方はおいね我が居室へ參つてワツとばかりに泣伏したが、暫くは聲をも立てず忍び泣、偕は夕べ見た夢は逆夢にあらずして正夢であつたか、夢の内に母親を殺むといふが、素より親の許さぬ不義惡戯をしたのであるから公然母親を引取つて世話すると云ふ譯には叶はず、又二世と交し夫と思ひし與三郎が先立つて見れば跡に殘つて何に樂みがあらう、此の上は自殺をして相果て冥途へ參り夫婦となつて蓮の臺の新世帶、夫婦仲睦く暮しませう、それにつけてもお父樣に對して先立つ不孝、相濟ぬ譯ではございますが百歳の壽過ぎた其の後冥途に於てお詫をいたしませう、と泣々取出す硯箱、父へ對して遺書一通、硯の海の薄くとも淚を共に認めました

…のでさうでございますが、それがまア何うも怪しからんことではございませんか、職人共申し合せて御金藏を破り大枚にお金を盜み出さうとしたさうでございます、けれども嚴重にお役人が廻つて居たもので忽ち知れて一人殘らず取押へられ城內の櫛の井戸といふ處で首を刎られたといふことでございます、何うも人といふものは見臨けによらないもの、棟梁などは大勢の弟子があつて立派に暮して居たものでございますがね、殿樣のお金なぞを取らなくとも宜いのに、とんだことをして首を斬られてしまひました、洵に慾といふものは恐いものでございます」いね「其麽ことがあらう筈がございません、それは嘘でせう」忠「なんの此方樣へ參つて嘘なぞを申して何うなりませう、たつた今宅兵衞さんのお內儀さんを…殿樣とんだことをなさいます、何うなすつたので私が何か氣に障ること…でも云ひましたか」と小間物屋忠兵衞が頻りに謝して居ると、下女のおしまが「忠兵衞さん十五日だと云ふに朝から忌儀でもない、人が殺されたなぞといふ話しをするからお孃樣が腹をお立てなすつたので、全體餘り喋舌るから宜くないよ」忠「何うも洵に濟みません、私も惡い了見で申したのではありません、お世辭のつもりで」しま「其麽お世辭があるものかね」忠「折角お世辭になつたものを要らないと云はれては困りますから何うか宜しくお孃樣へお取做を願ひます」しま「今直に持つて行く譯には叶かないから其處へ置いておいて…

芝居に行くにも　木村屋パンを　忘れちやいやよと妻の聲（京城明治町　電二八七〇）

曆

四月廿一日　九星　四綠　舊三月　初日　癸巳　木曜　六白　乾宮　先負

▲六白　うんざりする程多き日…▲七赤　大利の日…▲八白…▲九紫…▲一白…▲二黑…▲三碧…▲四綠…▲五黃…

月やく　月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法迄に御知らせ致します　東京神田錦町三ノ一九　淺井よい子

ぢの薬　内用外用　清痔丸・清痔劑　兩劑を併用すれば面白い程能効あり　定價内用一圓、外用一圓　本舗　名古屋京町　荒川長太郎　全國到る處の藥店に販賣す

産婆　川村ノリ

京城本町四ノ一三一　電話二三六三番

齒科診療　野田歷治　齒科醫院

齒科醫士　本町一丁目三越向　電話一〇四七番

演藝案内

御成座

御成町　電一九一　新派　兵衞新三郎一行　小栗風葉氏作浪枕　全八場

有樂館

早川演藝部直營　電話一〇九二番　四月十九日より…　泰西活悲劇「死の麼」…

浪花館

明治町　電話二六〇　女浪花節　吉田奈良女一行

黃金館

電話三三七六・六五二　天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店　四月二十日より特別提供　▲活劇忍術物語り天童神力丸…

壽座

京城壽町　電話五五七八番　今様能樂…四月十九日…

大正館

櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社特約　四月二十日より特別大興行…▲喜劇「井上大九郎」…▲悲劇「ダグセンの失敗」…

一代に百萬の富を作る決して難事に非ず

予が現に實行しつゝある利殖法　何人にも容易に實行し得る方法

株式會社富強世界社專務取締役　大迫利亮

▼金は誰にも出來る

世の多くの人は金は出來ないものであると思つて居る…一代にして巨萬の富を蓄積すると云ふが如きは、明治維新の時のやうな世の中ならば兎に角、今日のやうに社會の組織が完備した世の中では…

▼成功致富の實例多し

昨年十月、時事新報の調査掲載したる五十萬圓以上の全國資産家表を見るに…

▼金の出來ぬ理由なし

▼天下の富豪金利を恐る

▼百圓の資本で百萬圓

▼一日五厘儲ければ宜し

▼決して實行難に非ず

▼空論に非ず實際的

▼貧乏人續々蓄起す

▼貯蓄投資講義錄の發行

▼本社の確實なる事

▼會員には永久指導

▼百圓の元金を得る法

▼今直ちに決心せよ

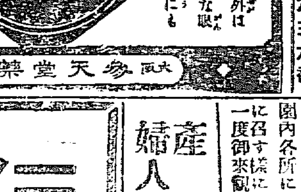
…以て東京市神田區一ツ橋通町八番地株式會社富強世界社へ宛「貯蓄投資研究會規則書」送れと申込まる可し、內容說明見本及び規則書を郵送す

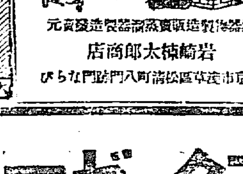
亞鉛、銀鉛、銅、鐵鑛　旨り鑛種に對し　鑛區買入（許可鑛區先願權）　融通鑛物買入　京城明治町二丁目七番地　正巳鑛業所　電話一一五九

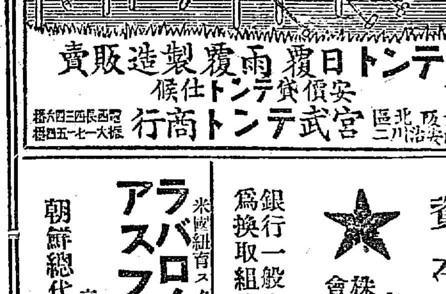
略（マ）又は（マサミ）

致富之栞!!進呈　營業所（堂島濱壹丁目）大阪堂島米穀取引所仲買人　今延商店

質　京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北）　堀佐營業所　電話六三九番





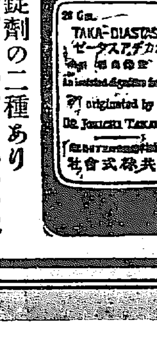


○勸業貯蓄債券賣買並に月賦販賣廣告
中野商店債券部　京城旭町二ノ六

本町清香園の夜櫻開始（本日より）

產科專門　中央婦人病院　院長　電話二三四〇番

外科一般花柳病科　內科一般皮膚病科　島崎病院　京城旭町一丁目　電話二七三六番



＝タカヂアスターゼ＝
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり
本劑は粉末及錠劑の二種あり
東京室町　三共株式會社

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
京城本町壹丁目　株式會社百三十銀行京城支店
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイド、ルーフイング
アスフアルトフエルト
朝鮮總代理店　藤本釘次郎本店

太靈道宣布の爲め無代贈呈

【希望者至急葉書にて申込を要す】

‖太靈道の‖

靈界時潮

‖宣布機關紙‖

揭載重要項目

◎太靈道公宣……主元　田中守平

●教憲

△思想界の大革命……米國哲學博士　栗田貞韜

▽靈子作用應用所感……前軍々醫大監　依虎文

△太靈道の要旨……紅雨

▽靈理學の大意……天甫

△靈子術の梗概……龍樹

▽不思議！不思議！！直ぐに肉體が躍り出す……花山院

△靈子顯動作用實驗記……靈界鳳化

◎論説

△○春雨○學年○智識

▽時潮……醫學大學外數項

△世界巷談

▽死後……山茶花生

△思想の推顯……哲學博士ＴＫ

▽奇蹟論……某文學士

◎講話

△宗教の話……[illegible]男子女史

▽太靈道と家庭……長谷川理學士

△認識―實在―觀念……[illegible]

▽太靈道講話會

△天眼天耳

▽滅び行く人の子……川口秋水

△靈子滑動作用報告……小松美代治

▽靈子作用施術報告……大鳳生

△懸無常

▽特別講授會の盛況

△試驗と出產

◎小説

△天上の世界（其二）……能妙春霞

△鼠の智慧

外十數項靈辭靈句を以て滿載

●太靈道教部規法

●太靈會會則

●太靈道入門規例

●太靈會速修部規定

□人間には未だ人間自身に普ねく知られて居らぬ靈妙な作用が存在する。之を太靈道では靈子作用と稱するのであつて此作用の發動が顯動と潜動の二種に分れて居る。全く靈的に人體に發動して來る者であつて其靈子の顯動の場合には暗示もなく精神統一の要もなく端坐しても直立しても雜念や疑念が有ても夫等に少しも拘泥せずに唯だ一定の型式に依り自得（型式及び自得の方法は教授書に明か也）する時は

□肉體靈感自動し來るものであつて老、壯、男女誰人にも實習することが出來る。其妙境に達するや肉體は輕快自在となり體が宙に飛び上り奇態百出の不可思議現象と、心氣の潤然爽快とは到底筆紙に盡すことは出來ぬ。更らに潜動の場合には本でも机でも火鉢でも何でも眼前に在るものに此作用を傳へるとそれ等の器物が忽ちに自動し出して來る。本の如きも

□十冊位積み重ねて置いて之れに手を添へて靈子の作用を傳へると全部が自動する樣になる。導體不導體の區別はなく鑛物でも植物でも乃至動物にでも之れを傳へることが出來る、そして顯動潜動の靈子作用を行ふと不思議に健康になる　而も彼の靜坐や其他の健康法の如く毎日長時間を要するといふことは繁忙な今の時代には誰にも爲し得る譯でないが、此の靈子作用は

□一日僅かに數分間の履行に依りて心身に受くる所の効果は血液正循、清淨となり、細胞の活動を旺盛にし、體内に潜める病毒を去り、病熱を除き體溫の平順を保ち腐肉豐滿血色潤澤となり、頭腦を明晰にし理解力決斷力記憶力等を增進し活氣横溢精力充實、滿腔[illegible]の力を增大せしむることが出來る、此の作用は自分の健康に効あるばかりでなく家族近隣又は其外の

□他人の病痾を治することが出來得る。今迄に此傳授を受けて他人に應用し、醫藥効なき多年の慢性痼疾をして極めて短期間に快癒せしめた實例は多々ある。而して催眠術や其他の精神感應術の如き一時の氣休め的なものでなく、最も的確に効果を奏して居る。そして少しも危險弊害を伴ふことなき理想的療法であるとは修得者の一樣に感嘆する所である。而して靈子作用の體得は單に治病健康の爲めといふばかりでなく、此研究に依て人格が高尚になる。それはなぜかといふに靈子といふ今迄會て知らざる不思議の作用を事實上に體得して應用して見ると、始めて

□宇宙の神祕に接し人間といふものが實に靈妙尊貴な生物であることが知り得られる。同時に尊貴靈妙なる自己生命の根本たる太靈を理信する樣になり、自然に理想が涵養されて誰人も遂に高尚な人格を備へ來る樣になる如斯にして心身强健、人格高尚、活潑雄渾の偉大性を養成して

□人類を靈化し完人に啓導することが即ち太靈道の大目的として居る所であつて、又た現代の要求である。

申込所　東京市麴町區一番町四十二番地　太靈道本院

品太靈會丙種會正會員入會者に限り頒布す（詳細會則『靈界時潮』參照）

●製本既成

靈子顯動作用速修教授書

●即時配領

本書内容

□教授の項は一々寫眞版を以て懇切鄭重に説明し直接教授を受くると差異なきを期す

□全卷總振假名付き行文平易なれば新聞を讀み得る程度の學力あらば誰人にも了解することを得

『靈子顯動作用速修教授書』目次

第一編　理論門

第一章◎宇宙人生と健康　△宇宙も人生も健康には狭へ〓し

第二章◎生命の本體　△吾人の生命の持主は誰？生命現象とは何？

第三章◎疾患の本源　△疾患の作用を知らんとすれば先づ其本質を知れ

第四章◎靈的現象　△不思議の現象も靈理を體得すれば必然的事實也

第五章◎靈子と神秘的傳説　△過去の聖者の奇蹟も靈子術によりて實現し得可し

第六章◎靈子術と健康　△生命は健康を左右す靈子術は生命の根源健康の根本也

第七章◎靈子術と疾患　△生命現象と自然されざる疾患は靈子術に依りて治癒す

第八章◎靈子術と科學　△科學は中間の說明也靈子術は根本的治療法也

第二編　作用教授門

第一章◎靈子顯動作用速成修得上の心身の準備

第二章◎靈子顯動作用速成修得の秘訣教授

第三章◎立式顯動作用教授（精巧寫眞版挿入）型式及び順序説明付

第四章◎坐式顯動作用教授（精巧寫眞版挿入）型式及び順序説明付

第五章◎臥式顯動作用教授（精巧寫眞版挿入）型式及び順序説明付

第六章◎自由顯動作用教授（精巧寫眞版挿入）型式及び順序説明付

第七章◎顯動作用應用一分間靈動の極意教授

第八章◎靈子顯動作用發動程度（最高七百二十振動）測定法説明（精巧寫眞版挿入）

第三編　應用教授門

第一章◎靈子耐寒法教授

第二章◎靈子耐暑法教授

第三章◎靈子回精法教授

第四章◎靈子振氣法教授

第五章◎靈子高能法教授

第六章◎靈子肥滿法教授

第七章◎靈子懷妊法教授

第八章◎靈子雄辯法教授

第九章◎靈子作用軍隊應用法教授

第十章◎靈子作用學校應用法教授

第十一章◎靈子作用運動應用法教授

第十二章◎靈子自己治病法教授

（い）腦病、（ろ）神經衰弱、（は）精神病、（に）癲癇、（ほ）ヒステリー、（へ）腦充血、（と）腦貧血、（ち）腦溢血、（り）耳疾、（ぬ）咽喉、（る）喘息、（を）口腔、（わ）齒牙、（か）眼疾、（よ）肺病、（た）肋膜炎、（れ）心臟病、（そ）腎臟病、（つ）肝臟病、（ね）胃腸病、（な）子宮病、（ら）痳疾、（む）痔疾、（う）黴毒、（ゐ）糖尿病、（の）僂麻質斯、（お）神經痛、（く）疝痛、（や）打撲、（ま）傷痛、（け）火傷、（ふ）凍傷、（こ）皮膚病、（え）熱病、（て）脚氣、（あ）腫物、（さ）禿頭病、（き）脊髓病、（ゆ）不眠症、（め）吃音、（み）惡癖、（し）其他諸症狀自己治療法詳細教授

京城日報
四月二十日（夕刊と合せて八頁）

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥山仙三
印刷人　小川三之介

第三版

下關期米特電

▲十九日前場▲兵現段落十六圓六十三錢乃至十七圓四十錢大阪前止十七圓〇六錢後節〇七錢と新高値つ入電にて當地限十二圓八十六錢中出來不申先十三圓〇六錢と三錢高に寄付きるも買物多く〇八錢を上伸したるが戻りは又現物多く低落……[illegible]

▲日の商內　[illegible]

▲總會の結果　[illegible]

露西亞の將來

京城日報

去月中旬、革命騒動以來、露國人民の心理狀態に變調を呈し、彼等は自ら稱して自由の露西亞と爲す。兵士は自由の兵士なりとて、任意に軍隊を離れて歸休し、緊平平等なりとて會社從の關係を否認するといふ有樣なり。近く黑龍江沿岸にては自由の露西亞には稅などいふ不自由なるものあるを許すべからずとて、私民稅關を破壞し、無稅にて自由に外國商品を引取りたりと云ふ。其の無秩序無政府の狀態、言語道斷ともいふの外なし。過日、假政府が君士坦丁堡を領有し、ダルダニルス海峽を自由航行するの要求條件を、放棄するとを宣言して、無條件講和の意嚮を示したるが如き、亦革命心理より生ずる氣紛れ沙汰と云ふの外なし

露國假政府は、兎も角も相當の人物を以て組織せるものなるに、何故に輕々土京及び海峽に關する要求を放棄するの宣言を發したるや、其事情は未だ詳かに知る能はざれども、是れ恐くは、ペトログラードに於て專ら暴威を逞くする所の、兵士勞働者連合團體の威壓に、餘儀なくされたるものなるべく、此團體及び兵卒中には、多數の社會主義者ある爲めに、此機會に乘じて、其平生の不平を漏さむとするものなるべし、且丁抹瑞典諸地の社會黨は、獨逸附從黨と相通同して、露國社會黨を蠱惑し、其をして單獨講和に、傾倒せしむるに力むるの形跡あり、故に若し此種社會主義者をして、獨り其の爲す所を專らにせしむるあらば、露國の前途、甚だ懸念すべきものあるのみならず、此戰局に不測の影響を及ぼすとなしとせざるなり。

實を云はば、此歐洲大戰役最中に於て、露國に革命騒動を惹起したるは、獨り露西亞の不幸たるのみならず、又協商國通般の不利にして、何人も共に之を遺憾とする所なれども、今更ら愚痴をならぶるも益なし、且露國民をして、此上にも其過を重ぬるとなからしむるを、希望するといふのみ、過日來の事は主として、社會主義者の爲めに誤られたるもの如く、最近に至りて、此に心附きたるものは、急遽、反社會黨團結を形くり、講和運動を打破するに、ことを報じ來るものあり、露西亞人豈愛國心なからむや、國家の危急存亡の際に於て、非國家的社會主義を鼓吹し、其國土の擾潰するを顧みざるあり、心あるもの、此に蹶起するあるは固より其所にして、露國民は決して、長く社會主義、非國家運動の支配を受くることなかるべしと雖も、何分にも去月中旬革命以後、僅かに一箇月を閲するに過ぎずして、其秩序を回復するまでには、猶ほ若干の時日を要すべし、而して露國民の意思は、飽まで獨逸と戰つて、最後の勝利を收むるにあり、とするも、秩序回復後にあらざれば、自ら進みて大活躍を試むることなかるべきなり、只露國內に此混雜あるに對して、敵國獨逸も亦疲困骨に徹するの實あり、眼前西部戰線に於ける、英佛軍の進擊甚だ急にして、獨逸軍は其全力を此に致して、自ら支ふるの地を求め、復た露國戰線に行動するの餘力を存せず、即ち是れ露國民、其革命の後を、善くするの時間を有するを得る所以なり。

北漢山登り

四月廿二日　日曜日

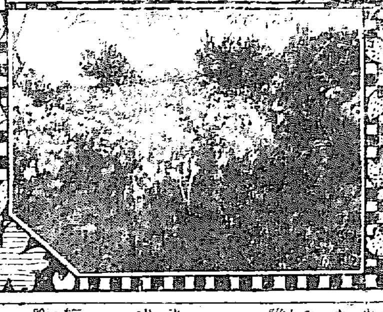
御覧なさいあの春霞に包まれた三角山を如何に心持ちのよい姿ではありませぬか彼山に登るのです

途中の小松林や野原や小川には躑躅が今を盛りと咲き亂れ杏や連翹の花は行く手の人家の附近や山の麓などに一面に咲て居まして全く上手の書いた畫の中を行く様です

あの清麗な谷川のせゝらぎは耳を洗して流した様ですあゝ何と云ふ美麗な景色でせう

♣午前七時半獨立門集合八時出發
♣辨當や水筒は各自御携帶の事
♣十七歳未滿のお方を伴つたお方と御婦人には御同伴者がなければなりませぬ御婦人達は可成團體でお出で下さい御婦人でも容易に上れます
♣山上には湯を沸してあります而して名士の講演があります
♣歸路は山上で解散しますから何の方からお歸りになりましても宜敷です
♣お案內は本社員が致します

京城日報社
每日申報社



滿洲煙草界の勁敵

英米トラストの活動

在奉天英米トラスト煙草會社滿洲總店は廣大なる工場を有し從來營業を爲し來りしも戰爭其他の爲め製造を中止し業務不振の觀あるも其實裡面の活動は仲々盛んなるものあり即ち製造をこそ中止すれ[illegible]於ても之れを損傷する事能はず其品質の優良なるより深く南北支那人の嗜好に喰び入りて已に牢乎不拔の根據を作り他煙品を以て此等を驅逐せむ事は決して容易の業に非ず現に

▲我東亞煙草　のホーニーの如きは其目的元より對支那人に在るも現狀に於ては支那人の嗜好は之れに固執して却り日本人の需要を得つゝあり英米トラストは斯る優良[illegible]上に於て同人は支那語を解せざるに拘らず其支那人に對する應接交際振りの巧妙なる事兎ても日本人などの及ぶ處に非らざる由にて今後同人の滿洲に於ける活動は甚だ畏る可き者あるを疑はず而して一方我製煙界を觀るに巨頭の東亞煙草の如き強敵の英米トラストと對峙する上に於て遺憾の點無からざれば我東亞を始め朝鮮及び滿洲に勃興しつゝある我製煙家は更に一層の緊縮を要す可しと云ふ（天）

淵雲一話

露國運命の運勢

[illegible]一節[illegible]つて居たいやうである。[illegible]本に掲げられたが、其當時は[illegible]は其中るを中らざるとに拘はらず興味のあるもので、百下者が昔でも東許でも飯を食つて行くのは、これが爲めである。ここに出來るのは[illegible]紙、ナッヰールド新聞にハツ[illegible]といふ[illegible]下[illegible]露運帝の運命を[illegible]つた[illegible]出て居る。これに據ると帝[illegible]は今年の一二月頃が最も悪運の頭で、生命を亡ふの危險を伴つて居たが、此時を無事に經過すると、だんだん運が開いて四月には敵を破り（所が實際は今や獨逸は西部戰場に於て大敗しつゝある）六月には隆運の頂天に達するであらう。七月には講和會議が開かれ八月には休戰となるが、九月の末には平和談判破裂して再び交戰狀態となり遂に獨逸帝は大敗するといふ。此通り運べば甚だ面白いが、當てにならぬは占ひ迄もない。併し獨逸帝の運勢の日に月に非なるは星卜學者の豫言を待たずとも明かである。

日報詩壇

○春日偶成　內田六皕
燕燕于飛剪影輕。草生南畝促春耕。○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○。
評曰　蕭灑

○謝贈梅花　西田白陰
梅花一朶葬無塵。茅屋挿瓶初識春。○○○○○○○。○○○○○○○。
評曰　詩亦吐露眞情

○紀元節恭賦　栗原華陽
皇統連綿萬世彰。威稜堪仰滿乾坤。○○○○○○○。○○○○○○○。
評曰　眞是足頌佳辰

○春日偶成　黑柳靜洲
郊村煙草十分春。柳髮纖纖眼界新。○○○○○○○。○○○○○○○。
評曰　吟心搖蕩

○雜林同人會第九回詠草（二）　島村新左衛門
井上通泰先生點
みかへれど今も昔もかはらぬは月のかゞみの光なりけり
おのれさへ影くばかり年老いてうつる鏡の影ぞかなしき　佐々木信一
都の塵のおもしろさて世の人にもてはやさるゝ小鏡もあり
たをやめはふところ鏡とりいでゝ笑をなさせり人の見ぬまに

藝町教數 學塾長 松村定二先生著
算術難問題の學び方解き方
本書の特色は中學全體に亙る算術難問題の學び方解き方を學校入學試驗の難問題より自然に解釋を詳說したる上、解き方を簡易に解說し中學程度の學生高等學校受驗者等の進達を計りたる作、中學程度の學生商業學校受驗者にに用なくして叶ふ（ヘ）からざる必讀の寶典也。
懸賞問題提供　正解者には金五十錢宛二百圓贈呈
定價[illegible]　京城本町[illegible]大阪屋號

東京　博文館
五月號　口繪も寫眞も美しく記事は揃れて面白い
少年世界
小說　突飛太郎……
怪猫物語……
幽谷の七夜……
美談　兩親を救つた少年……
定價二十錢

少女世界
冒險奇談　入外境の黃金窟……
特別記事　私の好きな鳥の話……
東京天城……

鑛山用測量器諸械　シンサキ

移轉
這般業務擴張の爲め左記の處へ移轉致候に付此段廣告候也
大正六年四月十六日
日本國債證券株式會社
朝鮮總支部
京城府南大門通一丁目卅一番地（朝鮮銀行向側）
電話一七三七番・振替口座三九四三番

短期速成　建築科講義錄
會長　東京帝國大學文科大學教授從四位勳三等文學博士服部宇之吉
講師　林博士岡田教授宇野教授北村教授中村教授外現代一流大家
新學期開始―會員大募集―僅か一ケ年にて建築の奥義を極む―講師は斯界の專門大家―會費は低廉比なし―講義は平易明瞭にして實用的也―見本附規則書申込次第進呈―此際の入會者に種々特典あり
東京市麴町區飯田町三　帝國工業教育會

速に會則を見よ（申込次第無代進呈）
第八回新學期開講記念懸賞募集（總人員一千人）（獎學金七百五拾圓）
大日本漢文學會
本會は漢文學研究と國民精神の涵養の爲め漢文講義錄を發行す
講義錄は東大支那哲文學研究室關係の諸先生合議編纂執筆に係り說明懇切
何人もよく斯學の堂に入るべし會長及講師は親しく會員の質疑に答へ詩文を添削し名學者贊助員諸先生は每號有益なる青年訓話を執筆せらる。
東京小石川西神田町　大日本漢文學會

天
洋釘　洋鐵　鋼　浪板　平板　ブリキ　カ板　鐵線　亞鉛　眞鍮板　銅板　地金類
京城南大門通三丁目　福田又京城支店

法人登記公告
一、松禾地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ四百四拾九口、拂込ミタル出資ノ總額ヲ金壹千八拾八圓七拾九錢ト變更シタリ
右大正六年四月拾七日登記
海州地方法院松禾支廳

抱川地方金融組合ハ出資總口數ヲ四百七拾七口ニ拂込ミタル出資ノ總額ヲ金壹千六拾七圓五厘ト變更シタリ
但シ大正五年度末日ノ現在ニ依ル
右大正六年四月拾八日登記
京城地方法院抱川出張所

一、小蒸汽船
右借入レ度ニ付詳細ハ四月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

○○花輪。徽章　盛花。技物
其他御好みの造花御注文に應ず
京城明治町筋
造花商　尾澤屋
電話一三五九番

◎軍隊拂下被服類
○毛布舊貨の御依頼に應す
其他　サルマタ○シャツ○メリヤス○ズボン下
右昨年殘品多數大見切にて販賣可仕候
京城北米倉町電話千百十二番
メリヤス雜貨卸商　村上商店

毛質を絕對に變化せず益々美艶豐麗な毛ならしむ
レートポマード

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附は全く不要!!
それ程附け工合といひ、艶といひ、匂といひ一點の非のない最新式の煉香油です
東京　平尾賛平

大統領に移出禁止權

米國內外商業委員會の提案

華盛頓發外務省著電に曰く米國下院に於ける內外商業委員會委員長は行政部の委任を受けて戰時輸出禁止法案を十六日提出せり右に依れば大統領は其定むる條件の下に何時にても物品の輸出を禁止する事を得べく猶違反者に對する罰則を議定せり（東京特電）

西班牙汽船擊沈さる

西班牙汽船トム號（二四、一三噸）は獨艇の爲め無警告雷擊を受けて沈沒し乘組員十八名溺死したり（紐育電報）

露國戰勝公債募集

自由露國の建設＝國民へ投資希望

露國戰勝公債は十九日募集を開始せるが政府は人民に勸告を發して曰く强大なる敵は我が國を侵擊し將に我が國を擊破して舊政體に引き戾さしめんと期す政府の熱心に願望す最後の勝利を致さんには偏に全力を盡すの覺悟必要なるべく同時に正當の基礎の上に自由露國の建設を全ふせんには必ず數十億の金錢を投せざるを得ず我が國は他國の犧牲を要求せず唯我が義務を敢行せん事を要求す人民は宜しく金錢を國家に致し新公債に放資して以て我が自由財產を救護するに努めざる可らずと（露都電報）

支那財政總次長更迭

財政總長陳錦濤次長殷汝驪の兩氏は收賄事件に關係せる爲め總統令にて免職され同時に李經羲氏を財政總長に李思浩氏同次長に新任せり（北京特電）

馮張兩氏と軍事會議

馮國璋、張勳の兩氏は軍事會議に列席せざるに決せり（北京特電）

御慰問使日程

朝鮮駐劄軍各部隊並に鎭海灣、永興灣要塞及び海軍部隊の軍情視察並に御慰問の爲め畏き邊より御差遣相成るべき侍從武官長內山大將は恩賜品携帶の上二十三日東京出發二十四日午後九時四十分釜山に上陸二十五日午前八時五十分を以て入京し直に各部隊を巡視の上聖旨を傳達する筈なるが軍よりは特に竹內中佐隨行すべく日程左の如し

▲四月二十五日（京城滯在）軍司令部、師團司令部▲二十六日（同）步兵第七十八聯隊、衛戍病院、野砲兵中隊、騎兵中隊、兵器支廠、經理部倉庫▲二十七日（同）憲兵隊司令部、京城憲兵隊本部、朝鮮步兵▲二十八日　大邱部隊▲三十日（大邱滯在）▲五月一日　大田部隊（馬山滯在）▲二日　馬山部隊▲三日　鎭海要港部司令部、海軍防備隊、鎭海灣要塞司令部及要塞の一部▲四日　東萊陸軍轉地療養所▲六日　新義州部隊▲七日　義州部隊▲八日　平壤部隊▲十三日　羅南部隊▲十四日（羅南滯在）▲十六日（會寧滯在）會寧部隊▲十七日　鏡城守備隊▲二十二日　元山要塞の一部、元山部隊▲二十四日　午前八時三十分南大門發歸東

就學兒童增加

公普校入學生數

公立普通學校建設當時に在りては生徒を得るに困難を感じたるも漸次學校の旨趣を解すると共に敎育の必要を認め一面生活程度の向上と相俟て近時就學兒童激增の傾向あり今や同校の入學希望者は一部の地方を除き遙かに豫定數を超過するに至れり即ち既往數年間に於ける公立普通學校入學狀況を見るに全鮮を通じ大正元年には募集數百人に對する應募者九十二人なりしもの大正二年には八十三人となりしが大正三年には一躍九十三人を示し大正四年には更に百一人となりて茲に一人を除し又た大正五年には百三人となりて三人の超過を見るに至れり、而して本年度は募集數男二萬二千八百九十三、女三千八百十八計二萬六千七百十一人なりしが其の應募數は女三千三百七十一人にて四百餘人の不足を見たるも男は二萬四千二百四十一人に達し男女合計二萬七千六百十二人となりて結局約一千六百人の超過を示せり

期間經過乘車劵

鐵道院にては今回乘車劵の通用期間を經過したる場合の取扱方を改正したるに付院線との連絡旅客に對しては左記に依り取扱ふことゝなりたりと

二月中爲替貯金槪況

本年三月中爲替貯金事業に就き本局配帳月を以つて區切りたる槪數總計の示す所に依れば郵便貯金月末現在人員一千五百三十二萬二千百二十三人此の金額三億一千三百九十萬四千二百八十七圓證劵月末現在人員五十五萬四百七十八、枚數三百六十萬一千三百二十六、此の額面金額五千八百五十四萬一千七百六十圓郵便振替貯金月末現在人員八萬八千三百三十六、此の金額千五百五十八萬六千四百六十九圓にして郵便貯金は前月に比し現在人員に於て十一萬二千七百二十八人を又現在預金額に於て三百九十六萬二百二十二圓を增加し、證劵は前月に比し現在枚數に於て一萬六千四百六十七枚額面金額に於て四十二萬七千八百四十圓を振替貯金は前月に比し加入者に於て一千二百五十二人、預金現在高に於て四萬七千二百四十九圓を、受拂金額に於ても亦四百七十一萬三千七百八十九圓の孰れも增加を示せりと云ふ

四半季の鑛業出願數

出願件數一千件を算す＝注目す可き鑛種の新現象＝朝鮮の鑛業界は益々有望也

本年一月より三月に至る四半季間の鑛業出願件數を見るに一月は新願二百三十二件、出願訂正及び鑛區の增減願三十五件、計二百六十七件にして鑛種は金鑛の六十八件を最多とし金、銀、銅、鉛、亞鉛、鐵鑛の二十八件、砂金及び金銀鑛の各十四件黑鉛鑛の十三件等順次相亞ぎ出願手數料二萬六千八百五十圓を算せり、二月は新願二百二十六件、出願訂正鑛區の增減願四十件、計二百六十六件にして鑛種は金鑛の五十六件、金銀鑛の十五件、黑鉛鑛の二十六件、鐵鑛の十三件等を主とし出願手數料の收納高は二萬六千六百九十圓を示せり、三月は新願三百九十六件、出願の訂正及び鑛區の增減願五十件、計四百四十六件に達し其の收納手數料四萬四千八百七十五圓を算せり、而して鑛種は金鑛及び鐵鑛の各六十九件を最多とし、黑鉛鑛の四十九件、金銅鑛の二十五件、金銀銅鑛の二十一件、金銀鉛鑛の十九件等順次相亞げり、今各月を通覽するに出願總件數は實に七百七十九件に上り此の手數料九萬八千五百十五圓にして前年同期の出願數に比せば實に[illegible]の差あり、又た鑛種は依然金鑛を最多とするも黑鉛、鐵鑛等顯著に增加し且つ著しく各種混合鑛物の數を增せるは注目す可き現象にして朝鮮の鑛業界は月を逐ふて盛なる殷賑を呈しつゝあるを知ると同時にまた鮮內が如何に各種の鑛物に富めるかを想像し得可し

京畿租稅賦課徵收

大正六年度末現在に於ける京畿道租稅及び賦課徵收狀況左の如し

稅目	調定額	收入額	調定額に對する收入步合
地稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
市街地稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
戶稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
家屋稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
酒稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
煙草稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
驛屯賭收入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
所得稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]

火田整理と植樹

京畿道勸業係にては豫て火田整理の必要を認め居りしが此程之が復舊の方法等に就き研究調查中なりしが山來忠淸南道附近に產するクルミ及びウルシ樹等を植栽して此れが整理を遂行せむとの計畫あり殊にクルミ及びウルシは其の種子材木共に用途極めて廣くウルシは人の熟知せる所なるがクルミの如きも其の材堅牢にして銃の臺木等に盛に使用せられつゝあり又果實は一升四十錢以上の高値を維持し西洋料理等には缺ぐべからざる必要品なれば戰後ぐが販路開拓の如きも極めて有望なるべく其他堤防樹としても好適の樹たるを免れず之が植栽は單に叙上の利益多きのみならず併せて火田整理の目的を達すとせば一擧兩得の妙案と云はざるべからずと當局は語れり

京畿蠶種掃立數

京畿道管內に於ける昨年中蠶種掃立枚數を聞くに總計三萬六千五百十一枚にして內春蠶種は前年に對比し殊に著しき增加を示し二萬七千七百六十二枚を掃立たり夏蠶及び秋蠶種は多少の增加を見たるも大差なく夏蠶の二千七百三十三枚、秋蠶の六千十六枚を掃立てたり之を前年に比較せば總計に於て七千八百五十二枚の增加を示し內春蠶種の三百七十九枚秋蠶種の六百九十七を其な增加せる事となる即ち前年に對する掃立枚數の割合は其計に於て二割七分の增加を示せる也と

慶北漁業近況

慶尙北道迎日、慶州、盈德の三郡及び鬱島に於ける各月漁獲高を聞くに合計十四萬一千五百七十二圓にして本年一月以來の累計は六十三萬零三百八十三圓を示せり

京畿莚叺製造傳習

大正五年中京畿道管內に於ける莚叺製造傳習狀況を聞くに開催場所高陽郡外十七箇所期間は客年十月四日より今年二月二十七日迄で各所共七日間にして修了者五百七十人製造高三千六百八枚にして傳習成績は極て良好を示せり

支那遍歷

中島生

上海短信（一）

支那に於ける最大最重要の商港にして政治上の中心たる北京に對して、經濟上の中心たる上海に關し、記すべき事餘りに多く、旅中到底其遑なし此の通信は唯だ小生が短時日の上海生活を簡短に叙するに止む。扨ても、京城を出でてより二十五日目にして、三月二十六日漸やく上海に到着致候。豐陽舘に入り未だ旅裝を解かず、直ちに北四川路の神愛舘に寓せる、高橋武雄君に、電話を以て著滬の旨を通ず。高橋君は朝鮮銀行上海出張員として、昨年秋以來此地に在りて、同行の冷牟田君と倶に活動しつゝある也。通知に接して高橋君直ちに來り、何は兎もあれ見物にと誘ひ出づ。萬事呑込み顏の高橋君に一切を委せて追隨し、先づ英租界四川路なる伊藤商行に主任伊藤源七氏を訪ふ。氏は高橋君の友人にて明治四十二年以來貿易業を營み、少壯實業家として、此地に信用頗る厚く、小生も曾て京城にて相識りし間柄なれば、久濶を叙して再會を喜び申候。其より上海の最も繁華なる所を見むとて蘇州河に架せる外大橋、即ちガアデン、ブリッヂを渡り、黃浦灘路を步む。橋畔に上海公園あり、簡木鬱蒼として、花卉絕ゆることなく、白人の童幼嬉々として芝生の上に遊べり。支那人の入園を許さず。日本人はもと入るを禁ぜられしが、日露役後一等國民として自由に入るを得るに至れり。

黃浦灘路は所謂海岸通にして、黃浦江に沿ひ、大會社、大商店櫛比し、電車、自動車、馬車、人車目まぐるしきまで往來し、雜鬧を極む。我が正金銀行を始め、臺灣銀行、香上銀行、露亞銀行、獨亞銀行等軒を並べ、軒頭人の市を成せり、高橋君の曰く、余は此の街區を名けて東洋のロムバアド、ストリートと呼ばんと欲すと。寔に然り。黃浦路より四川路あたりは、汽船會社、稅關、諸會社、商店、ホテル其他の建築物互に壯大を競ひ、其殷かさは到底銀座通などの比にあらず。

繁華の巷を一通り步きたる後、上海マーキユリー新聞の佐原篤介氏を其私宅に訪ひ、大に同氏の支那談を叩く。佐原氏は二十年來此の地に在り、初め時事新報記者として在り、今は聯合通信の事に關係し且つマーキユリー社に於ける樞要の地位を占め、支那に於て操觚者の先輩として、一たび上海に到る者の、必ず其門を叩いて、其說を聞かざるなし。小生は初對面なれども、氏は之を遇する舊知の如く、苟くも問題を提げて其の意見を求むれば、好い哉其の質問やとばかりに、意氣軒昂として、快辯を以て說き來り說き去り、人をして辭去するの遑なからしめ、覺わず日沒に至り驚いて、辭去す。

此夜伊藤源七氏小生の爲めにアスターハウスに於て晩餐を饗せらる、高橋君も同席し、且つ食ひ且つ談ず。ホテルの大食堂はレデース、エンド、ゼンツルマンで充滿し、歡語嬌音は四邊より東洋人の耳を刺戟す。

牧場保護林

江原道蘭谷面に於ける總督府直營牧場は其位置高燥にして地域一帶空曠何等防風上の設備なき爲め牧畜の經營上支障少からざるを以て總督府にては本年度より防風林及び牧畜保護林の造林試驗を開始せるが其の造林面積約五町步を算して植樹の種類は主として內地種及び朝鮮種落葉松とも計二萬五千本を植栽せるものなりと云ふ

私立學校敎員試驗

京畿道にては道廳構內に於て五月二十九日より同月三十一日に亙り私立學校敎員試驗を擧行志願者は五月十五日迄道廳へ願書を提出す可しと

慶南米豆檢查高

慶尙南道米穀改良組合に於て三月中の米豆檢査の數量は四萬二千零二十九叺にして之れを前月に比すれば二千六百六叺を增加せり而して米は三千百七十一叺の增加にて大豆は七百六十五叺の減少なり米に於て多少の增加を見たるは左したる原因にあらざるが兎に角値段の昇騰を待ちて貯へつゝあるものも今尙は昇騰の時期來らず且つ目先き金融上賣放さるゝものあるに因りて自然小口ものの賣放を見るに至りたるに依る大豆は除り殘品も多からず且つ昨今の出廻り品は多く北鮮產にして本道產は最早品薄となりたるに依れり米の日本種に於て比較的上格米の減少したるは米價の關係上と貯藏上よりして現時の賣放品は除り良好なるもの無く自然在來種混合のもの多きが爲めにして其成績良好なりと云ふべからず今三月中の檢查米審查上夾雜物の步合を平均すれば上格米百分の二、四五、下格米百分の三、五五なれば前月に比し上格米は百分の〇、〇二の不良を示し下格米は百分の〇、二二の良好を示せり（釜山）

新學校組合設置

豫て江原道通川郡順嶺面及び路錢面方面に學校組合新設の議ありしが今回順嶺面下廃底里及路錢面致弓里、霧邑里、松田里を區域とし許可ありたり

京畿道客月穀價

客月中京城仁川二府平均穀價狀況を見るに籾上等六圓七十錢中等六圓下等五圓五十五錢玄米上等十二圓中等十一圓六十八錢下等十一圓四十一錢精米上等十四圓八十錢中等十四圓三十錢下等十四圓大豆上等七圓九十二錢中等七圓六十錢下等七圓三十一錢也

スタール博士入京

米國シカゴ大學人類學敎授スタール博士は通譯前橋半兵衛氏同伴十九日午後九時南大門驛着列車にて入京山本旅館に投宿せり

人事消息

▲後藤瑞巖師　大邱[illegible]山禪學會に迎へらる爲め[illegible]

▲[illegible]一郎氏（鮮銀[illegible]支店員）十九日夜入京[illegible]

▲指宿武吉氏（總督府技師）同上

南言北語

日本では選擧で大分新聞が騷つて居るが支那でも總統の馮國璋君と中原日報と大喧嘩を始めて居る▲喧嘩の問題は同新聞が總統夢と題して馮副總統が將來は大總統たらんとして居る此の馮君が落馬して負傷したのは天罰だと書いた▲すると馮君非常に立腹し政府に打電して同新聞の主筆と編輯長を逮捕拘留した▲すると言論は自由だ記者を拘引するは政府の暴壓だと其處の新聞も此處の新聞も怒鳴り出した▲而して半月餘りに亙て大議論をやつて居るが結局此の問題も議會に持ち出さるゝのだろうとの事▲馮君は斯う喧嘩をやつて居るが徐州會議など開催して天下に號令し徐州の張勳先生の近狀は頑固で有名な張勳も風流閑日月ありらしい▲張君は其の一顰一笑で中央政府を赤くしたり靑くなしたりする程の硬骨漢だが▲其の道は又た格別とあつて大の芝居好きで役者中には大總統以上の勢力を持て居る今北京の男優で有名な女形の王惠芳と云ふ男なぞは張君子飼の御負役者である▲此の調子で女優などには早速お手が廻る▲去年死んだ愛妾小毛子も女優であつたが其の後釜に白羽の矢の立つたのが當時南北醜名の美人女優で王克琴と云ふのであつた▲處が此の王美人張君以上の硬骨で金でも名譽でも動かず前淸朝の某親王に迄見事に肱鐵砲を喰はせた程で張君などは殆んど眼中になかつた▲處が花も一時と見ねて寄る年波と共に漸々に軟化し遂に今日では張君の掌中の玉となつて居る▲其れにしても思ひ出さるゝのは前淸の名女優楊翠喜は曾て振貝子の側妾として飛ぶ鳥も落したが▲今では奉天邊りで年長色衰へ浮世を悲しんで居る▲王克琴もこんな事になりはすまいかとはいらぬ心配かも知れぬが▲矢ッ張春にも限りがあるからなあ

督軍會議內容

[illegible]頭となる可し聯合會議の目的は對獨問題を解決するに在る事勿論なるも亦[illegible]一定の標準を規定せんとす[illegible]ものゝ如く多分其會議は[illegible]

[illegible]各驛より學生二名宛を選拔して日本に派遣せば僅少の經費を以て[illegible]

遼東開墾準備（奉天）

[illegible]及び市場建築に着手する筈にて已に[illegible]

[illegible]二水曜日に第一回を開會各小學校に於ける統一其他に關し協議する筈[illegible]

仁川學校組合にては曩に一般敎育[illegible]て來る二十三日午後一時より組合會を召集し追加豫算の件を附議すべし

一番よくきく懷中良藥―

守田寶丹

是非

御用意なさい！

花見遊山や旅行芝居など外出の御用意

家庭の衞生にも

お迷ひなく……

起死回生　守田寶丹

を忘れず携帶し▲何となく氣分惡き時▲頭痛眩暈▲酒の醉▲船車の醉▲食傷水傷▲吐瀉下痢▲腹痛其他

いざ急病の手當にも一匙二匙服用せば寶丹の効能は直ぐ分かる

定價　拾錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓　以上は國美なる寶丹匙を添ふ

○○各藥店にて取次す

○○ニセモノあり池ノ端仲町二十七番地及守田寶丹に御注意

寶丹本舖　東京下谷池ノ端仲町　守田治兵衛　振替東京二九八五番

ダリヤ・カンナ　カタログ無代進呈　京城西大門外竹添町二丁目　東京千草園分園

最新刊

書名	著者	價定
鐵路一瞥	鐵道院編纂	四〇
認識物の根本問題	淺野研眞	一、五〇
大正六年一月現在職員錄	[illegible]	五五
圖南錄	長田秋濤	一、〇〇
ダンテ神曲天國篇	中山昌樹譯	一、九〇
債權者の法律顧問（法學士說明附錄參照書式引用）	森[illegible]	特一、八〇
債權者の活顧問	[illegible]	特八五
一家經濟生活法	加藤美侖	一、二〇
寒山詩講話	大內青巒	一、〇〇
成功と失敗	久保田[illegible]	七五
和歌の作りやう	歌道普及會編	七〇
徹底禪	秋野孝道	九〇
禪窓閑話	菅原時保	九〇
大正六年最近朝鮮事情要覽		六五
美人早わかり	[illegible]	一、二〇
新派浮世の情	秋山[illegible]	四八
コサック（トルストイ選集第六）		七〇
お伽花見車	巖谷小波	一、〇〇
家庭小說日の出る國	[illegible]	六五
模範ペン習字手本	[illegible]	二八
ペン數字練習帖	大阪屋編輯部	一〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目　電話[illegible]　振替京城二五七三番

京日案內

▲[illegible]

●家或は宅地放賣　●米穀集散地の然も一等地の家又は宅地を賣拂く〇停車場直前　●水原太田町（匿名）　983　985

●看護婦至急入用　希望者は本人來談あれ委細面談す　長谷川町　シメノウチ齒科醫院

●貸家　建宅地共山水眺望絕佳希望者御來談　京城明治町中央婦人病院內衣笠　986

●貸地　南大門通二丁目[illegible]工銀行隣三十坪餘　喜多金光堂　906

番外　京城電話一〇一五番

▲櫻樹賣モノ　吉野櫻十尺以上廿尺數百本廉價販賣　京城東四軒町　電話取次二〇六四　百花園

見習看護婦募集　希望者は履歷書携帶本人來談　京城本町一丁目　石川醫院　994

▲店員（印刷に經驗ある者）數名▲植字▲解版數名　右募集す希望の者は履歷書送付あれ試驗の上採用す　京城旭町二丁目　京城印刷所　991

▲牛耳洞行自働車　觀櫻諸彥の御便利を圖り牛耳洞行自働車開通仕候間陸續御乘車願上候　電話二九四　南大門通一丁目　[illegible]　989

●社員募集　簿記に精通し倉庫業に經驗ある者保證人二名履歷書　株式會社　哈爾賓倉庫　希望者は南米倉町商業銀行內山本方　984

恩給年金立替　低利長期即時　短期無保險　京城南大門外　西部支店　京義線沙里院　山口屋　791

恩給年金長期立替　京城若草町通中央郵便ポスト前入　勸業債券高價買受　電話三〇一一番　西村商會　905

年金恩給立替　退隱料　證書保管　並に水鉛多少不問高價買入　京城吉野町一丁目電車停留場約一丁半上る　即時　俵屋　714

七日各入京したり議會[illegible]は元來十六日開催の筈の處二十日に延期されたるが議案著の分あれば或は二十五日

能はざるを以て各省督軍又は其代表者より詳細を報告せしめ以て其統一を圖り同時に各省軍官の任命昇遷に

◎留學生增派案

駐日奉天留學生監督李濟東氏は東邊道尹の各縣留學生派遣法に倣ひ奉省[illegible]し張省長は之れを採用する事に決定せる者の如し因に東邊道尹管下各縣學生は本月下旬日本に向ふ筈なり

支那政府は道尹公署を[illegible]より同地に移して交渉署長を兼任せしむると與に商埠地を開放して商埠警察の組[illegible]

◎仁川

▲校長會議　仁川學校組合所管各學校長會議は[illegible]月朔[illegible]

[illegible]仁川支部にては來る廿一日[illegible]町佛教青年會に於て池坊生花大會を催ほし觀覽隨意なりと　▲學校組合會[illegible]費は豫算額より千四百七十三圓[illegible]の補助する旨の通牒ありたるを以[illegible]

◆句佛上人

極めて質素なる日常の生活

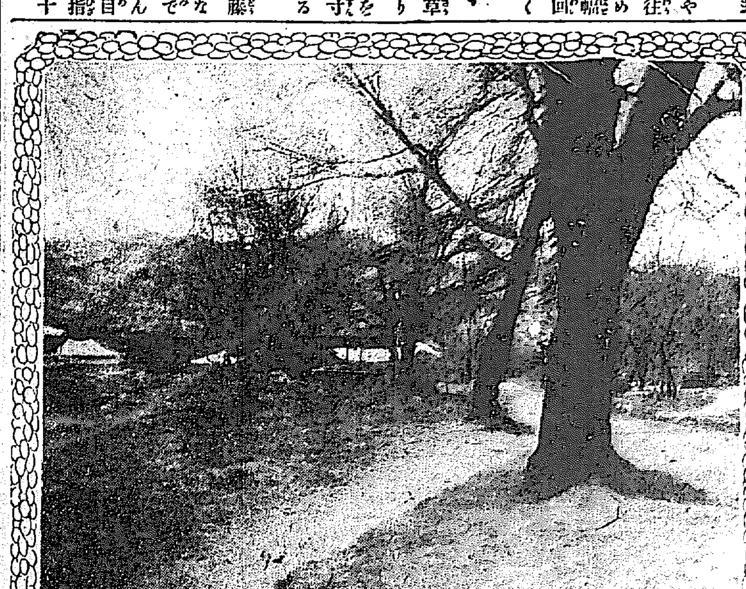
春四月花の綻びのそれよりも猶多く在鮮の人の心に大きな喜びを投げ與へたものは東本願寺法主彰如上人句佛大谷光演伯の朝鮮巡錫である上人が多年の痼疾なる◻脚部の痛みを意とせず道のために遥々と朝鮮に出て來られた事に就いては信徒の狂喜するのも無理ではない、茲に上人の日常、趣味等に就いて知れる限りを記して見る、上人は前法主現如上人の第二子明治八年二月二十七日の生れ、十七年九月十歳で得度、三十一年東京淺草別院に留錫し三十三年佛骨奉迎正使として◻暹羅に渡航され翌三十四年副管長となり四十一年嚴父現如上人の退隱に臨んで第二十三世の傳燈を襲はれた、上人の此の間に於ける努力に就いては記すべき事は頗る多いが、爰には唯上人の生活の一端に就いて記したいと思ふ、先づ上人の日常から言へば、百萬の信徒を擁し宏壯巍然たる殿堂◻伽藍の奥にある東本願寺法主その人は、定めし金殿玉樓の裡に起臥して、あらゆる豪奢を極めてゐるのであらうなど、想像する人があるならばそれは大きな誤まり質素儉約は聞くものをして一驚を喫せしむるものがある、居間は南陽こて十疊餘の室、室の中央に机一脚の卓子が置かれ、次ぎの間が寢室、その傍らに◻狹い書齋がある、執筆、書見、讀經もこゝで揮はれる、床の懸軸や置物など別に骨董的のものはない『御粗末と見奉りし蒲團かな』とは碧梧桐氏が上人の病床に伺候した時の感懐、三度の食事も極めて質素に一汁一菜の場合が多いさうだ御裏方は故三條實美公の第四女、閑院宮殿下の令妹にあたり◻淑德の譽れ高く大本山の裏方としてはさすがに名門の出だけに些々たる日常の坐作進退に至るまでが、何一つとして雅かならぬはない和氣靄々不斷の春光は恒に家庭に瀰漫してゐる、御子達は先逝して得度された光養麿君、華族女學校を卒業して東京の南條博士邸に居られる長女政子、同女學校在學中の次女素子、三女忠子は本山にあつて學校へ通つて居られる◻上人が家庭に於いてお子達を愛せらるゝ事は非常なもので上人には丹青に吟詠に、さては謠曲に堪能ながらも事改めて綸筆を握らるゝやうな事はなく、いづれ感興の湧くまゝに時を選ばずものせられるのだが時にお子達のために筆を執らるゝやうなことも稀でないさうである、又上人が◻人に對して深い同情を有し常に慈愛を垂れつゝある事は多くの人の知つてゐるところですが、最近と言つても昨年の事であるが一昨日中に再び來朝する鳥人スミス氏が札幌に於いて墜落負傷した時に、京人形に添へて懇篤な見舞狀を寄せられた事があつた(つゞく)

♣加五里と牛耳洞

櫻は何方が早いか

▽『花開けやい』と催促に…今を盛りの桃の花…加
▽五里の蕾は未だ固い…廿七八日が滿開…山躑躅
▽と野躑躅…風流に解したい…澤山出來た花見茶
▽屋…麗はしい赤前垂れ…牛耳洞は次の日曜から

さくらが咲かうか咲くまいかと思案してゐるのも知らないで、時ならず霙をまじへて降るなんて、大分氣の利かない曉方の雨、雷がやんで更に降り直さうか照らうかと思案してるやうだつた空も♣どうやら霽れた、十九日の午後、道を東小門にとつて牛耳洞加五里に『花開けやい』を催促に出掛ける、東小門から行く道は、風流の心は同じなるお役人が花見る人のためにーーと特に直したのでもあるまいが♣牛耳までの道路は古いやつだが平坦砥の如し、昨年までは往復に兩三回は必らず路の凸凹のためにパンクされて弱つたのだが三噸轆の坦道を駛る吾々の自動車には一回の故障も無かつたことは道路がよくなつたためだと♣先づ劈頭に言つておく、東小門外に出るとのたり〳〵と牧草を食む牝牛の見ゆる平山牧場の邊りまでは道の兩側の小高い丘には今を盛りと桃が咲き亂れてゐる、麥の寸も伸びて揚雲雀高鳴く長閑さである加古里へ著くと♣櫻の村の村長然たる須藤君がまだ蕾の固い櫻の小枝を翳しながら迎へに出る『どの木もまだ蕾ですが此の通り今朝の雨で大分膨らんで來ました』と加五里の誇り、一目千本の櫻畠から、朝日櫻の邊りを指す、二十二日頃から咲き初めて二十七八日が滿開らしい、加五里の♣今は躑躅が眞つ盛りである、大曉君が妓生を集めて野外踊の風流を試みたといふ苗藏松のあたりにつゞく小山には山躑躅、野躑躅、若つゝじなんど亂れ咲いて♣美しい眺めである、今年は加五里にはサクラビールの肝入りで朝鮮式の風雅な亭が五つも出來て



花を待つ牛耳洞　＝十九日午後牛耳洞にて＝

そこには色美しき紅白の幔など張られて花見る人を招くといふ、加五里からは僅かな道程、二三分駛つて♣牛耳洞へ行けば花時なるかな入口から枝垂櫻の枝を張る邊りにかけて『樹枝折るべからず』の制札も新らしい色を匂はせて同じお布令ながら之れは亦風流に解したい、道の兩側から谿流の淵一帶にかけて、♣天幕張りの花見茶屋は無數に出來てゐる、氣早の花見人を曳からとてか、そこ、ここの掛茶屋には眉目うるはしい赤前垂れの女が艶な聲して、お茶召しませ、ビール上がれ』と手招くも滞なればこそ♣雅びやかではあるまいか

こゝの櫻も加五里と同じくまだ開花には四五日間があるらしい、若木の櫻は少女たちの持つ巾着のやうにふつくらと膨らんで、うてなの色の餘程に濃い、此の分では此の次ぎの日曜あたり♣ちらほらと咲き出でやうか、牛耳洞にも加五里にも花咲くを待ちきれぬ風流人が物言ふ花など引き連れてボツ〳〵遊びに來るといふ、春である、春である。

◎金貸老婆殺し

目下犯人嚴探中

鳥致院吉野町居住高利貸女安原イエ(三)は十七日例の如く貸金に對する書類並に現金入りの風呂敷包みを携へて貸先を廻り夜に入りて歸宅臥床せしが十八日午前二時頃何者か溫突の小窓より闖入し熟睡中のイエを棍棒樣の物にて亂打し前頭部に五個所深さは骨膜に達する重傷を負はしめ何處ともなく逃げ失せたり、イエは血に染まりつゝ隣家の大工中川某方迄這ひ辿りつき此の旨急報し昏る、擬類み置き再び自家に歸り打伏したる處急報に接し醫用所長は時を移さず現場に驅せ付け直ちに犯人搜査に着手したるも何分被害者の意識明瞭ならざれば金品の被害さへ分らず且つ此の犯行は暗夜の事なれば更に犯人の手掛りなく其の筋にては極力犯人の嚴探中、因にイエは實子久武なる者あるも同人は身持放埒の爲め同居せず加ふるに同人妻は數に縊死を遂げたる等種々入り込みたる事情あるもの如く久武は大田に居住し目下辯護士に依賴しイエに對し財產の分與方に就き訴訟を提起せんとしつゝある等不和の家庭模樣なりと(鳥致院)

◎機關車、自動的に出動して貨車と衝突し養成所に突入して舍監を慘死せしむ＝東京驛の椿事

十九日午前四時十八分東京驛構内鐵道院鍛冶橋車庫内にありて正に發車せんとして其用意を爲しつゝありし機關車(二六三七號乘組員無し)が突然自動的に動き出し前方に石炭を滿載し停車しつゝありし無蓋貨車に衝突し同貨車を押して六十分の一の勾配を下り進み鐵道院從業員養成所に衝突し先づ同所舍監室に突入し同室に睡眠中なりし舍監加藤福武(三八)の寢室を顚覆せしめ貨車より溢れ落ちたる石炭にて加藤舍監を埋沒し慘死せしめ更に隣室なる病室及び生徒十二名の寢室に突入し此所に漸く停車したり(東京特電)

◎大虎を撲殺す

京義線濟溪驛附近にては昨今白晝猛虎出沒し本月八日居住鮮人二名を咬傷したるが悲鳴を聞きつけ附近農民數十名は各手に棍棒其他の得物を携へて驅付け遂に件の大虎一頭を包圍撲殺したりと

◎海女、遭難者を救助す

本月十一日全南木浦を發したる朝郵汽船公州丸は十三日濟州島山地に到着し乘客鮮人十一名內地女一名郵便物十五を艀に移し陸揚せんとせしが灣內浪高く艀は以外に多數を積載し爲め遂に浪に堪へず轉覆したることは既電の如くなりしが之を發見せし沿岸の海女は何れも海中に飛込み早速救助に著手せしも鮮人四名內地人女一名及び郵便物四個は遂に行衛不明となれる爲め目下搜索中なり

◆壽座の今樣能樂を觀る

十八日壽座に榮樂三郎の率ゐる榮樂會の能樂を觀る、序幕の竹生島が濟んで榮樂のシテ泉松代の時宗にて▽小袖曾我の幕がなだらかに繰り展げられて行く樣であつた、狩衣に武者烏帽子に弓矢を携へた嫁の五郎子には充分の情緒が含まれて從來のお能に見る樣の能さへぬ柔らかさを味はしさを見せて居る『春日野の飛火の野守出でゝ見候はゞや時致が參りたろし、それ〳〵御申上候へ』のあたり『赤澤山の狩競にて父を失せさせ今とても狩場さあらはなどしもせむる御心にもかゝざる』あたり哀感切めて見る者をしてホロリとさせた松代の時致も▽優しいに凛として兄弟二人が遺憾なく時化されて少しの不自然も不自由も感ぜしめなかつた、次で狂言『三人片輪』も脈味のない上品の喜劇として非常に面白く見た次は『鉢木』が演ぜられた松代のシテ寄多村初子のツレで『鉢の木』の淋しい松代のワキ瀬戸師の宣明寺殿の深み味を持つた氣品のあるのが嬉しかつた『よしなき人を待ちうけるよ』と立つた時侘かげばかりの橋掛かりに一雨降りたる山路の、鐵が見れた鉢のシテも鈍なく寄多村初子のツレは大變に美しかつた、同は▽今一段の綺綿を覺ゆるであらう『紅葉狩』は蕗のシテ松代のワキで勤められた此の曲に由つて今樣能の美しさは遺憾なく發揮された維良の装束も十四の少女の舞も能と謡さ歌舞との粋がよくコンデンスされて居つた殊に松代のワキは他の曲の時のワキよりも一段に見榮りがした、最後の能舞になつてからは此の一曲の美しさが讃めてゝ『紅葉狩』を一時に吹き飄れたる心地に見る人をして恍惚たらしめなければ止まなかつた、狂言『節分』の美しい早乙女の群れさ▽輕妙なる耐三郎の神事舞ひと立派な歌劇であつた輕い舞ひの袖と綺麗な歐洲と花のやうな少女の群とは全く觀客を醉はせて終つた、能樂と云ふ立場から見たら耐三郎一派には幾多の批難もあるかも知れぬされど能樂といふものが死灰のやうな骨董品でない限りは斯う云ふ風に發達して行くのが自然の道で有らう此の向上發展の門戸を開いたのが耐三郎の天才であつた――榮樂會の役者は皆んな美しい衣裳も綺麗だ、ほんとうに繪のやうに又花のやうに美しかつた(時雄生)

◎鍾路署の野犬狩

京城鍾路警察署管內にては先頃より咬傷犬の出沒あるを以て十七日より狂犬、野犬の撲殺を勵行しつゝあり

オトギハナシ　椿と小人

◆杏花綻び初し

大連電氣公園

◇木馬に跨り嬉々として

十九日朝大連の空は春光麗々として昨日來の雨模樣の雲は片影だにも留めず一行は特別電車四臺を連ねて市内日本橋より信濃町通を西に▲電氣公園に赴き丘上より遥かに大連、靑泥窪の繼續と大連市街の遠望を望み杏の蕾綻び初めし庭內を巡覽す殊にメリー、ゴーラウンドにて一同木馬に跨りつゝ子供の如く嬉々として遊ぶ所却々の賑ひなり公園よりは更らに支那人教育の公學堂を初め滿鐵中央試驗所を巡覽し十時四十分更らに電車に分乘して大連市外の▲星ケ浦に向ふ滿鐵銀行招待の園遊會は帆影白帆綺の如き海濱の旅亭に開かれ長閑なる春光の下音樂隊の奏樂裡に美人連の斡旋あり一行は十二分の歡を盡せり(十九日午後一時二十五分於沙河口幹部員發電)

◎行け北漢山へ

櫻に早し＝此の機を利用せよ

昨年春季の京城ケ壁廻りの連絡として我讀者諸君の多大の希望を容れた本社は愈々來る二十二日の日曜日を以て北漢山登山會を催す事となり其の計畫の大略を發表するや既に團體申込者多き盛況なり

登山の時節としては暑からず寒からず加ふるに百花は途上に滿開するの有樣なれば一日の近郊散策としても最も好擧なるべしと信ず取り別け北漢山▲名物の躑躅の花は最う一面に咲き亂れて登山の人に其の艶美を誇らんとして待つもの、如し一口に北漢山と云へど登山者の主として赴くは三角山なり今回も本來より云へば三角山登りと云へば或は適當なるやも知れず彼の地は頗る多くの史跡に富み現今に於ても由緒ある寺院或は城壁等を存すれば史家は必ず一覽を要すべく殊に李朝時代の離宮等も現存す途中及び山上の絶景は云はずも哉兎に角山上より▲京畿道內殆ど全部を眼下に望み一日の快遊を擅にせんとする近郊に於て之れに勝るの場所ありや彼の牛耳洞加五里の如きは脚下に散在し健脚者は歸途此の方面に向ふも亦興なるべし殊に登山の道程も遠からず道路も宜敷ければ婦人達にても容易に登山し得べし定めて多數婦人の參加もあるべし旅裝なども殊更のものを用ふるに及ばず唯草履又は靴なれば澤山なり要するに此擧は陽春一日を家族的に最も愉快に最も面白く而も有益に悠々行樂を盡さんとするにあれば▲櫻には未だ早やき此の日曜日の事とて同好諸君が多大の賛同ある事は本社の密かに期し居る次第なり殊に此の機を利用せずんば氣候眺望其他に於て今年秋期迄は登山者の爲めに面白からず來れ諸君一日の淸遊を恣にせんと思ふ人は

えんげい

▲壽座　○○　今樣能樂榮樂會三郎一座はます〳〵好評にて連夜大入をつゞけ居れり二十日夜五日目の番組左の如し▲鞍馬天狗▲田村▲金輪▲夜討曾我▲狂言▲佰母ヶ淵▲千鳥▲宗論

▲大正館　○○　二十日より特別寫眞と差替へたりその主なるもの左の如し▲實寫伊太利の絶景▲沼澤ダッセンの失敗▲喜劇鳩さ下僕▲舊劇井上大九郎全三卷▲活劇快漢ロロー▲新派悲劇不如歸全六卷

▲黄金館　○○　二十日より新寫眞と差替へたるがその重なるものは舊劇天狗回力丸、活劇十時の秘密、新派悲劇命懸け等なり

▲御成座　○○　新派靜間三郎一座にて二十日夜の替りは浪花、心中なり

◎暴風警報(四月十九日午前十時發)

▲警文風強かるべし▲低氣壓位置滿洲南部▲示度七百五十二粍米突▲進向方向東南東▲記事南風強し▲警戒區域咸鏡南北沿岸

松丸太杭木用並に建築材料

今般湖南線井邑驛前に派出所を置き現今數千本の出材致有之候間多少に不拘御用命之程願上候

三幸洋行井邑派出所

營業種目

杉丸太(足場用材)長尺物　日本檜材(荷車用材)各種

鮮松大丸太(造船用適材)　赤身勝長五間內外　末口五寸以上二尺內外

杉皮(土居葺用)　青竹並に建築材料一式

朝鮮京城岡崎町　三幸洋行　電話二八〇番　振替口座京城三一九五番

お花見に

旅行用『魔法瓶』

京城本町二丁目　熊平支店　電話長六二四番　振替京城二二一番

當る廿日より特別大興行!

革新最新撮影　德富蘆花先生傑作

ホトトギス　全七卷　卅五場

不朽の名著不如歸を現代の新しい人々の胸に呼び還へさんがために或意味に於て原作より以上に悲慘に、より以上に大仕懸にしました、逗子にも伊香保にも特に出張撮影しました、フキルムも時間も資本も惜まず使ひました、皆つて試みざりし雄篇大作であると信じます。

米國ユニヴアサル會社特作品

第八快漢ロロー　四十卷の內第十一編上場　野村雅延口演

日活專屬尾上松之助一派大車輪

舊劇　井上大九郎　全三卷八十七場

櫻井町　電話八七三　大正館

注意　本興行中に限り從來發行せし特種入場券並に招待券は御斷り申上候……特に料金普通……

滿鐵安東縣有志の招聘に依り四月十五日より約三週間同地出張

再び歸京診療に從事可仕候間此段謹告仕候也

京城長谷川町安東病院出張

久枝肛門病專門醫院

愈好期節來れり!

一刻も早く御買ひ求めを!

東京　塚谷出張店　京城本町一丁目　電話一三六番

漁網。釣具一式及附屬品卸小賣

網類賃貸及修繕大勉強仕候

京城櫻井町壹丁目　網京商店　通信販賣部

怒濤の月

百四十　小林鐵月作　武内桂舟畫

葉櫻の陰「二十八」の一

花は、咲いて散つた。櫻々と待ちかねて居た時間の長かつた割合に、咲いたかと思ふと直散り初めた。今年は別けて風と雨とが三日保つべき花を二日で散らしたのである。遲れて咲く八重でさへもその影響を受けて、蕾ながらに色が貧しくも褪めかゝつた。櫻は何時か暗き影を地に曳くまでに芽が伸んで了つた。青帝の駕は早く既に轅を上げて逃げ仕度に取掛つて居るのである。歐洲の大戰がまだ戰きれぬので、地球の上の空氣がすべて殺伐に變つて居るから、

今年は花までが此の通り殺風景に了つたのだと、物識顔に嘆息の聲を漏らして居る者さへ尠くなかつた。四月と云ふ月も、其方此方する内には既う中旬に達するであらう。軈ては杜鵑の鳴く音が曉の空に聞かれさうな氣候となつて來た。

男爵花泉閣下が、折角の御自慢で、贅を盡された築山上の花見臺も以上の爲體であつたから、今年は殆んど物の役に立たずに了ひで、遂に一度の晴々しい花見の宴も催ふされずに、その儘風雨に吹き曝されの哀れを止めて居る。口のわるい植木師の半丁などは「どうせ此の分では秋のお月見臺に役立たせるであらう」などゝ囁き合つて居た。それでも、此の吹き曝されの花見臺の上に、時々庭園内の散歩をかねつゝ、一日の内には二度三度、乃至多い時には、四度位も足を運んで、例の支那燒の腰掛に腰を卸して、太儀さうに眼下の眺望やら、庭内に咲き誇つて居る躑躅の花などを眺め暮して居る一個の壯者があつた。誰あらう、それは幸三郎の雅雪であつた。彼は今、毎日のやうに矢來町の自宅から此の原町の男爵邸まで通勤して、男爵その人の依頼と云ふよりは、寧ろ袖子新夫人の熱心なる所望に依て、六曲一双の金屛風に、一世一代の傑作を揮ふべく意匠圖取の考案中なのであるが、去月以來最早一月以上に及んでもまだ、一枚の下圖さへ工夫が付かずに居るのである。幸三郎は、今更では無いが、染々と自分の藝に對する修業のまだ甚だしく未熟なる事を悟つた。とてもこんな事ではと思ひながらも、幸今日こそはと、筆を執つて金屛風に墨を落す丈の勇氣と自信とが出て來ぬ。今日は今日はで、荏苒一月以上の今日を云ふ日が來たのである。而もその今日と云ふ日も亦、將に太陽が西の空へ名殘を惜みかけて居る所であつた。

「ちよツ、男爵を初め、袖子夫人も定めし僕の遲方を視て、もどかしく齒痒ゆく思つて居らるゝこツたらうが、工夫の付かんのには、何と言はれても止むを得んのだ。萬一不可と言はれゝば、仕方がない。袖子夫人に對しては、彼れ程の厚意を無にするやうで濟まんが。此の揮毫は斷念して了ふまでの話だ。」

幸三郎は、勿論四邊に何人も居ない了簡で花見臺の竹の欄杆に兩肱を凭せた儘、呟くともなしに呟いだのである。

「もしツ、倉橋さん、御退屈さうですね。」

思ひきや、背後から突然に聲を掛けた婦人があるので、幸三郎は、ぎよつと爲ながら頭を捻ぢ向けると、袖子であつた。

「あツ、吃驚致しましたよ。奥樣で御座いましたか？」

袖子は、總の長い華奢な紫紺色のお召縮緬に、金泥と銀泥さ、光琳風の浪模樣を書き分けてある被布を襟下りに著流し、手には白躑躅の五六輪咲きかけた小枝をしほらしさうに携へて居るのであつた。

「ほ、ほ、ほ、吃驚なさるには當りませんわ、倉橋さん、萬吏のお一人ではお淋しからうと思つて、お話相手に來て進げたのよ。」

「それは何とも恐れ入りましたね。さあ何卒お掛けになつて下さい。」

幸三郎は、慌だしくも自分の席を譲つて、下手の方へ引退つた。

「あらまあ、倉橋さん、それなりでいつしやれば好いのに。どうせ爽は長くお話して居る譯には行かないんですから……。でもね、今日は御前が急の御用で、茨城縣まで御旅行になつたもんですから、少しは身體に樂が出來ますのよ。」

「は、はア御前は茨城縣の方へお越しになりましたんですか。私は少しも存じませんかつたので……。」

「なアに、本統に思ひがけない急用なんですから、屋敷内の者でも、頓と知らずに居る位なんですの。お歸りまでには、たしか四五日は掛るだらうと思ひますわ。」

「それは比較的長い御旅行ですな。私もその間には大分閑で、切めては線描丈でも濟まして置かんでは、閣下に申譯がありませんな。」

幸三郎は、何事に付けても、藝の事より外は頭腦にないのであつた。

氣候の變り目に 人參キヤラメルを 御愛用あれ

西洋料理「雰氣すき燒、ハイカラ丼」おいしい京城第一との高評を得居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

千鳥煎餅 朝鮮京城本町二丁目 青木商會製菓部謹製 電話二三八〇番 人參マルモラード 松實ケンデー 栗納豆 三色納豆

隨鷗吟社聯句
四月十五日於蠶谷伊香保樓

新刊紹介

朝鮮總督府許可

人參直取引大販賣所
人參養榮 滋養強壯 人參エキス 朝鮮名産 人參一切 京城本町一丁目 製造本舖 津村兄弟商會 電話 振替京城
津村 商會人參部 京城本町二丁目 電話一八七〇番
支店 龍山 大邱 釜山 支店
內用 精能 效 神經衰弱、神經痛、老衰、病後、胃病、肺病、痔病、子宮病、不眠症等より起る諸病の滋養強壯劑なり
外用 精能 效 神經痛、傷痍、打撲傷、火傷、凍傷、腫物、肩の凝り、時に筋の張れ等によし

內科 外科 小兒科 花柳病科 入院隨意 京城長谷川町 安東病院 電話七三番

富の道しるべ 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城日報社代理部

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 清鮮卅錢 臺灣卅錢 東京神田和泉橋際 松本藥店 小壜二十錢 中壜四十錢

諸君

ハンカチをお持ちになつても肝心の

金鶴香水を

ふる事をお忘れなさつてはいけません其れは

禮儀と衞生の點に於て！

下痢腹痛にはヘルプが第一安全

殺菌力絕大なる 下痢止 腸胃藥
下痢の原因は多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の選擇に充分なる注意を要す
然るに從來の賣藥は單純の收歛劑にて殺菌の用意ある物なし
津村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且安全也
主治 效能 食傷 食滯 時候あたり 水あたり 寢冷 冷腹 等腸胃の故障より起る 消化不良 下痢腹痛 吐瀉 嘔腹 腹充斯を止め 腸加答兒 胃加答兒を治す
本舖 東京日本橋本銀町三 振替東京八六四番 津村敬天堂（ヘルプは全國到る處の藥店に販賣す）

內科 小兒科 京城日出小學校前 入院隨意 多々見醫院 電話九四〇番

男のひみつ病
東京順天堂病院始め博士學士の御證明と全快者の禮狀頗る多く且つ全國發明品投票に最高點の優等に當選せる專賣特許生殖器に治るハガキで申込は非賣品圖入り說明書を無代送呈す
東京京橋本村木町三の三 大阪市北區北森町一番地 東京新療法研究所 大阪新療法研究所

りんびよう ばいどく 專門藥 京城永樂町二丁目 ドラッグ商會

金泉鐵居自動車 金泉驛泉間自動車發着時間 金泉鐵居自動車支部

汽船釜山出帆廣告
尼崎汽船仁川出帆
日本郵船仁川出帆
朝鮮郵船出帆
大阪商船仁川出帆
共同汽船仁川出帆 伏見丸 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 野口商會